

第二十四回帝國議會
衆議院

北海道國有未開地處分法改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十一年三月二十四日午前九時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

宮古 啓三郎君	中西 孫太郎君	橫田 虎彦君
淺羽 靖君	中西 六三郎君	瀨下 秀夫君
鈴木 藤三郎君	藤澤 幾之輔君	駒林 廣運君
武滿 義雄君	松井 源内君	齋藤 宇一郎君
平島 松尾君	安島 重三郎君	山口 熊野君
橋本 久太郎君	上野 彌一郎君	

出席政府委員左ノ如シ

內務次官 吉原 二郎君	北海道廳長官 河島 醇君
-------------	--------------

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

北海道廳事務官 黒金 泰義君

北海道國有未開地處分法改正法律案

○委員長(宮古啓三郎君) 是ヨリ開會ヲ致シマス、チヨット皆様ニ希望ヲ述ベテ置キマス、段々期日モ切迫シテ參リマシタカラ、御質問モ成ルベク出來得ル限リ簡潔ニ、御答モ成ルベク問ニ満足シ得ラル、程度ニ於テ御述ベアラシコトヲ希望シマス

○淺羽靖君 チヨット政府委員ニ御伺ヒシマスガ、今回山梨縣ノ水害ニ罹リタル者ヲ北海道ニ移スルニ付テ、費用ノ要求ガゴザイマスガ、是ハ今後トモ斯様ナル災害ノアリマシタ場合ニハ成ルベク北海道ヘ移スト云フ政府ノ御方針デゴザイマセウカ、又縱令天災地變ノ被害ヲ受ケテクテモ、無職業ナル細民ノ職ニ有リ付カヌモノニ對シテハ、政府ガ必要ト見レバ、ソレ等モ此今回追加豫算ニ出マシタ如キ方法デ出テ、北海道ニ移サル方針デアリマスガ、ソレヲ伺ヒマス、第二ニハ此地價ニ付テハ申ス迄モゴザイマセウカ、北海道ト單ニ申シマシテモ、千島ノ如キ非常ニ不便ナ、マダ移住民ノ往カヌ所モゴザイマス、又北海道ノ本道ニ於テモ非常ニ交通不便ニシテ、千島ノ如キ船着ノ便利ノ却テ千島ニ於ケルヨリモ不便ナ所アリマス、此ノ如キ不便ナル所デモ地價ハドウ云フ工合ニ等級ヲ付ケラル、御見込デゴザイマスガ、地理上ノ前段申述ベル通り、不便ナ所モアル、其等差ヲ承リタイ、次ニ地質ガ非常ニ等差ガアリマス、貴族院ノ御説明ニ據レバ、先ヅ耕地ハ三等ニ別ケルト云フコトデアリマスガ、地理上別ケル方法、ソレデ地質上カ別ケラル、デ、ナカノ三等や四等ノ區別デハ餘程困難デナイカ、是等ハドウ云フ方法ニ依テ御立テニナリマスガ、御見込ガ立ッテ居ルノデアラウト思ヒマス、ソレヲ伺ヒマス、ソレカラ次ニ立木ト云フモノハ別ニ代金ヲ取ルト云フコトニナッテ居リマスガ、其立木ヲ私共ノ見ル所デハ直グニ賣レル所モアレバ、尺メ十六寸ト云フ標準ハ尤モデアラウト思フガ、木ヲ伐ッテ燒クヨリ外方ノナイ場所ガナカノ多イノデス、過半數デアル、其立木ヲ伐ッテモ賣レナイトコロデ、政府ガ賣ルト申シテモ買フコトガ出來ナイ、買ウテモ燒イテシマフヨリ

仕方ノナイト云フ所デアレバ、其立木ト云フモノハドウ云フ處分ニナルノデアルカ、是非地面ヲ買フ者ハ必ズ立木ヲ買ハナケレバナラヌトシテ、條件トシテ御賣リニナルノデアルカ、地主ガ否デアルト云ヘバ立木ダケハ別ニ賣ルノデアルカ、其區別ハドウ御附ケニナッテ居ルカ、ソレヲ伺ヒ見タイノデゴザイマス、ソレカラ四番目ニ伺ヒタイノハ、從來北海道ノ移住民政策トシテイロノ便宜ヲ與ヘテ居ルノミナラズ、土地ニ對シテハ二十箇年ノ除租ヲシテアル、開イタ後二十箇年地租ヲ免除スルコトニナッテ居ル、然ルニ今度ノ案ニ依リマス、之ヲ十年ニ短縮シテアル、政府ノ見ラル、コロロデハ景氣モ宜シ、地面ノ使用者モ多クナッテ來タト云フ御説明モアリマシタガ、ドウモ社會ノ經濟上ノ如何ニ依テ支配サル、モノデ、景氣ノ好イトキモアレバ又惡イ時モ出來ルノデアル、然ルニ此案デ見ルト唯景氣ノ好イ時代ヲ見テ、サウシテ除租年限モ十箇年ニ縮メテシマフ、ソレカラ五町歩ノ農家ノ外ハ代金ヲ取ル、ソレカラ木代金モ取ル、斯ウ云フコトニナリマス、事實ハ先ヅ暫ク議論ハ致シマセウガ、世ノ中ノ人氣ト云フモノハ一方ニ拓殖會社ガ出來、イロノ獎勵モアリ、北海道ハ今度ハエライヤカマシクナッテ木ノ代金モ取ラレル、地代金モ取ラレル、ソレカラ地租ノ免除期限モ短クナッタサウダ、是デハドウモ北海道ヘ往ッテ算盤ハ取レヌト云フヤウニナレバ、人氣崩レノ結果甚ダ拓殖ノ進歩ヲ妨ゲハシナイカ、此點ニ付テ當局者ハ左様ナコトハ一切ナイ、斯ウ云フ御見込デ何處マデモ是ガ出來タモノデアリマセウカ、ドウモ其邊ガ非常ニ拓殖ヲ進メルト云フ點カラノ政府ノ方針トスレバ、甚ダ其點ニ人氣崩レヲ醸シハシナイカト云フ恐レヲ持テ居ル、現ニ北海道ノ移住民ガ、本年ハ例年ニ比スルト新聞ニ依リマスレバ減シテ居ルト云フコトデアル、故ニ此拓殖上ノ方針ニ依テ甚ダ振フト振ハザル場合ニナリマスカラ、是ガ一番ノ大切ナ政策デナイカト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、故ニ、ソレヲ伺ヒマスノデゴザイマス

○政府委員(河島醇君) 第一ノ御尋ノ政府ハ山梨縣ノ天災移住民ニ對シテ特別ノ除租ヲヤルダラウ、將來斯ノ如キコトニナッタ者ハ皆同様ノ方法ヲ取ラカト云フコトデアリマス、之ニ對シテ將來政府ハ同一ノ方法ヲ採ルト云フコトハ本員ニ於テ御答ハ出來マセウ、併ナガラ山梨縣ノ天災ハ非常ナモノデアルカラ、此度北海道ニ移住スルモノニ對シテハ御述ニナッタヤウ便宜ヲ與ヘル、殊ニ北海道ニ移住セシムルニハ、其土地ハ殆ド一村若クハ一部落同時ニ災害ヲ受ケタヤウナ現象デアリマスガ故ニ、成ルベク部落一村ハ同一ノ場所ニ移住セシメタイト云フ山梨縣ノ希望デアリマス、政府モ其點ヲ認メタモノト思ヒマス、曾テ十津川移住民ヲシテ、十津川村ヲ爲サシメタヤウナ例デアラウト思ヒマス、併ナガラ北海道ノ現狀ニ於キマシテハ、彼ノ十津川ノ移住民ヲ移住セシメタト云フヤウニ、十分ナル土地ヲ撰定シテ之ヲ附與スルト云フコトハ出來兼ネルカ知リマセウガ、成ルベク北海道ニ於テモ山梨縣ノ移住民ニ對シテハ、出來ルダケノコトハスル積リデアリマス、ソレカラ將來一村一部落舉ッテ災害ニ遭ウタモノデナクシテ、何カ産業ノ出來能ハザル人民ハ、政府ハ將來北海道ニ移住サセル計畫ガドウカト云フコトハ、此點ニ於テ確タル御答ハ出來マセウガ、殊更事由ノアルモノデナレバ、同一ノ保護ヲ與ヘテ北海道ニ移

住セシメルコトハ或ハ無イカノヤウニ考ヘマス、第二ノ御問ノ地價ハ即チ貴族院ノ希望モ四圓五十錢以内トシテアル、以内ト云フ意味ハ御述ベニナツタヤウナコトデ、場所ニ於テ調査ヲ設ケル積リデアリマス、ソレカラ第三ノ樹木モ同様デゴザイマス、是ハ平均價格ヲ十六錢ト積リテ居リマスガ、以上ニナル所モアレバ二十錢以内ニナル所モアル、ソレハ丁度御述ベニナツタヤウナ所ニ於テ、直段ノ高下ガアリマス、除租年限ハ開墾ヲシ終テサウシテ所有權ヲ附與セラレテ、而シテ十年ト云フコトニナツテ居リマス、即チ買取期限ニ開墾ヲシテ所有權ヲ歸シテ、其後十年ト云フコトニ致シマス

○淺羽靖君 サウ云フコトニナツテ拓殖ノ上ニ影響シナイ御見込デアリマスガ、長官ノ責任トシテ其事ヲ御答フ願ヒタイ

○政府委員(河島醇君) 後トニ續イテ申シマス、第四ノ地價ヲ定メテ地代ヲ取ル、併セテ立木ヲ賣拂フ、立木ハ即チ土地ノ拂下ゲタ者ニ之ヲ賣拂ハシメルカ、或ハ希望セヌ者ハ他ニ賣拂ハセルカト云フ御尋デアリマス、ソレハ土地ノ拂下ヲ受ケタモノハ、殊ニ其地籍ニアル立木ハ買ハナケレバナラヌ義務ヲ持タセル、是等ニ付將來拓殖ニドウ云フ影響ヲ持テ來ルカ、即チ韓國ニ於テハ特別ノ保護ヲ與ヘラレルナラバ、人氣ニ於テドウカト云フコトモ一應御尤ト考ヘマス、併ナガラ北海道ハ總テノ點ニ於テ、自今即チ四十年以後ノ拓殖政策ニ於テハ、御懸念ノヤウナコトハ一切ナイ積リデアリマス、茲ニ明言致シマス

○駒林廣運君 質問致シマスガ、結局ハ本議員ガ北海道ノ實情ヲ知ラヌカラ、斯ウ云フ疑ガ起ルト思ヒマスガ、素地ノ儘ニ土地ヲ使用セントスルモノ、中デ、買受ケル者モアリ、有償デ借リル者モアリ、又無償デ借リル者モアル、斯ウニナツテ居リマスガ、之ヲ實地ニ就イテ見タラ、北海道ノ人民トシテドウ云フモノガ賣拂ヲ受ケテ、ドウ云フモノガ有償デ、ドウ云フモノガ無償デ借リルト云フコトニナルカ、有償無償ハ能ク分リマスガ、買受ケル者ガ素地ノ儘ニ使用スルモノデ買受ケルト云フノハ、ドンナ場所デアラカト云フコトヲ想像ニ浮ビマセヌカラ其點ヲ伺ヒタイ、尙引續イテ質問致シマス

○政府委員(黒金泰義君) 素地ノ儘ニ使用スルタメニ賣拂ヲ求メマス所ハ、是ハ大地積ニ於テハ斯ウ云フモノハ勿論許シモ致シマセヌガ、併ナガラ或ハ自分ノ持テ居リマストコロ、所有地ニ隣接シタモノデアッテ、別ニ開墾ノ用ニ供シ若クハ殖民ノ用ニ供シマセヌデモ、或ハ開墾擔保ニ供シタリ、其他自分ノ所有地トシテ開墾ノ用ニスルタメニ買フ場所ニ欲シイト云フモノニ對スル土地ハ、土地ノ儘ニシテ使用スルモノデアリマス、ソレカラソレハ自分デ所有權ヲ欲シイタメニ使用スルノデアリマシテ、併ナガラ是ハ誠ニ些細ナルトコロノ今日マデノ實行ノ上カラ申シテモ、小地積ノモノヲ指スノデゴザイマシテ、唯之ヲ入レマセヌト甚ダ範圍ガ狹クナリマスルタメニ、ヤハリ此文字ヲ入レマセヌト其賣拂ノ途ガアリマセヌタメニ、此文字ヲ使ヒマシタノデアリマシテ、畢竟スルニ是ハ僅ノ面積ヲ唯今申上ゲル目的ニ使用スル爲メノモノデアリマス、第五條ハ今申シマシタモノ、タメニ使用スルモノヲ、有償ナリ無償ナリデ貸付ヲ願フノデアリシテ、其有償無償ノ起ルトコロハ、畢竟スルニ土地ノ需要供給カラ起ルノデアリマシテ、何ノタメニ無償デアッテ、何ノタメニ有償デアラカト云フコトハ、事實ニ就イテ申上ゲルヨリ外ハゴザイマセヌガ、要スルニ需用供給ノ關係カラ起ルト御覽下スタツ宜シイト思ヒマス

○駒林廣運君 其事ハソレデ分リマシタ、次ニ八條ニ至リマスルト、賣拂ヲ爲ス土地ニ關スル事業ノ成功期間ガアリマスガ、モトノ素地デ使用スル目的ヲ以テ借リルノデアラカラ、自分ニ數頭若クハ數十頭持テ居ル牛馬ヲ放テ置クタメニ、便宜上賣拂ヲ受クルコトニナルト思ヒマス、サウシテ見ルト成功ハサバリ意味ガナクナツデシマウ、開墾デアレバ成功期間ヲ定メテ成功スルコトガ出來マスガ、殆ド其目的ノタメニ馬ヲ放テ置クト云フモノニ、便宜上賣拂ノタメニ成功ト云フコトハ、ドウ云フ事實ヲ指スノデアリマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 第八條ニ申シマスノ十年ヲ超ユルコトヲ得ズト書イテアリマスルノデ、詰リ其間ニ於テ賣拂ノ目的ノ成功期間ハ、或ハ一年ナリ二年ナリト云フコトノ區別ガアルノデゴザイマスガ、畢竟素地ノ儘デ使用スルノガ賣拂ノ目的デアリマスレバ、其土地ニ對シテハ成功ハナイ、即チ成功期間ハナイト御覽下スタツ宜シイト思ヒマス、無イ目的ノモノデアリマスガ、其モノニ對シテハ極メ必要ハナイノデアリマス

○駒林廣運君 ソレカラ此貸付ノ年限ガアリマスガ、是ハ同ジ人間ニハ引續イテ貸スト云フコトハセヌコトデアラウト思フ、然ルトコロ昨日チヨット此内容ニ付テ伺ヒタルト、漁場ノ附近ノ土地ハ魚ヲ捕ツテソレヲ始末スル場所ハ、是非借リテ置カナケレバナラヌ、或ハ魚ヲ捕ツテ之ヲ乾ストカ、總テノ肥料ニスルトカ、何カノ場所ノ如キハ借リテ置カナケレバナラヌ、ソレモヤハリ同一ノモノニハ貸サヌノデ、人ガ變ラナケレバ貸サヌコトニナルデアリマセウカ、是ハ賣拂ヲ受ケテモ、有償ニ借リテ居ッテモ年限ガアルノデアリマスガ、隨分是ハ爭ガ起ルト思ヒマス、自分ガ多少ノ設備ヲシテ漁場ヲ有シテ居ッテ、魚ヲ捕ル始末ヲスル其場所ガ年限ノ外ニ借リルコトガ出來ヌトナツテ來タラ、其舉ニ乘シテ外ニ賣拂ヲ受ケルモノガ出來テ來テ、非常ニ混雜ヲスルノデハナイカト云フ疑ガ起リマスガ、ソレハドウデゴザイマセウ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御尋ハ五條ト九條ノ關係ヲ御尋デアルト思ヒマスガ

○駒林廣運君 サウデス

○政府委員(黒金泰義君) 此素地ノ儘ニ使用スルタメニ貸付ヲ致シマシタ土地ガ十箇年ト申シマシタノハ、先ヅ貸付ヲ致シマシタ場所ニ當ッテノ期間ヲ申スノデアリマシテ、其期間ガ來マシテ其人間ニ重ネテ貸付スルコトハ、第五條ノ關係カラシテ少シモ異論ハナイノデゴザイマス、ソレデ第五條ノ素地ノ儘貸付ヲ受ケテ使用シテ居ル者ガ、十箇年來テ改メテ又貸付ヲシヤウト思ヒマスレバ、若クハ他ニ競争者ガアッテ、其土地ノ狀況ナリ又ハ其土地ノ場合ニ依テ、或ハ今マデ無償デアッタモノヲ有償ニスルト云フ關係ガ起ルカ知リマセヌガ、サウ云フ事情ガナイト致シマスレバ、從來貸シテ居ッタコロノモノヲ、其人間ニ又再ビ十年ノ後ニ貸スト云フコトハ少シモ差支ナイノデアリマス

○駒林廣運君 サウスルト殊更ニ十一條ニ於テ之ヲ延長スルコトヲ得ル、延長ノ期間ハドウ斯ウト云フヤウナ規定ハ全ク無用ノモノデ、其期間ノ來タトキ、又之ヲ借リサヘスレバ宜イト云フコトニナルノデスカ、十一條ハ八條ト九條ヲ指シタノデアリマセウカ、其處ハドウデゴザイマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御尋ハ少シク混交シテ居ルカト思ヒマスガ、十一條若クハ第九條ニ於テハ、主ナル目的ヲ申シマスルト、詰リ事業ノ成功期間ヲ設置シナケレバナラヌトコロノモノニ對シテ、必要ヲ認メテ居ルノデゴザイマス、若シモ此期間ヲ定メ

ズニ置キマスレバ、事業ノ成功ヲ待ツコトが出来マセヌカラ、ソレデ其期間内ニ必ズ成功
ヲセヘト云フコトヲ設ケテアリマス、ソレデ前ノ御尋デゴザイマスルト、是ハ素地ノ儘ニ使
用スルモノデゴザイマシテ、別ニ成功期間ガナシ、詰リ借りサヘスレバ其時カラ其儘ニ之ヲ
使用シテ往クノデアリマスカラ、其者ニハ別ニ成功期間ト云フコトモナシ、併ナガラソレデ
モ若シモ目的ノ通りニ使用致シマセヌケレバ、第十五條ニ據テ取上ゲルコトニナリマス

○駒林廣運君 目的ハ分リマシタガ成功ガ分リマセヌ

○政府委員(黒金泰義君) ソレデ成功シナイモノデアリマスカラ、其モノガ成功ヲ要セ
ヌモノデアリマスカラ、之ニ入ラヌト御承知ヲ願ッテ宜シウゴザイマス

○駒林廣運君 又繼續スルコトハ出来マスカ

○政府委員(黒金泰義君) ソレハ出来マス

○委員長(宮古啓三郎君) チヨット諸君ニ御諮リ致シマスガ、最早大體ノ質問ハ此
位ニシテ、政府ノタメニ逐條ニ移ッテ宜カラウト思ヒマスガ、御異議ガナケレバ逐條ニ質
問ヲ願ッテ如何デセウ

○横田虎彦君 私ハ牧場ノコトニ付イテ少シ伺ヒマス、現在ノ北海道全體ノ牧場ニ
於ケル牛馬生産數、又ハ年々斃レマスル牛馬ノ數、即チ牛馬ノ増加數ト云フモノガ分ッ
テ居リマスレバ、ソレヲ伺ヒタウゴザイマス、ソレカラ牧場ト云フモノト、耕地ト云フヤウナ
モノニ付テ、將來有價等ノ方法ニ依ッテ貸附ヲ受ケマシタ耕地牧場等ノ經營ニ付イテ
ハ、凡ソ先ヅ一町歩ナラ一町歩ト云フ上ニ於テ、何程位ノ即チ費用ヲ要スルモノデア
ルカ、假リニ五百町歩ノ土地ヲ賣拂ヲ受ケマシテ、サウシテソレニ牧場トシタナラバ、牧場
トシテノ經營ヲ爲スニハ凡ソ何程ノ固定資本ヲ要スルモノデアルカ、又耕地ト云フヤウナ
モノニ對スルニハ、幾何ノ資本ヲ成功マデニハ要スルモノデアルカ、又現在ニ於ケル見込
トシテ其收支ノ計算等ハ凡ソドウ云フモノデアルカ、是等ニ付テノ數字ノ上ニ於テ御調
ガ出来テ居ルモノガアレバ、承リタイシ、尙御見込モ承リタイ、唯今ノハ第一點デアリマ
ス、ソレカラ第二點ト致シマシテハ、前回ノ立木ノコトニ付テノ質問ニ對スル御答ニ、一
町歩ニ付テ平均立木ハ八十錢メト云フコトガ豫定ヲセラレタル、斯ウ云フコトノヤウニ
承ツタデアリマスガ、此八十錢メト云フコトノ即チ割出、ソレ等ハドウ云フコトコラ此
標準ガ割出シナッダデアリマスガ、ソレニ付テハ豫定ノ箇處ニ就テ十分調査ノ上ニ割
出サレタモノデアルカ、此割出ノ根據ヲ伺ヒタイ、是ガ第二點デアリマス、此第三點ハ立
木ノ二割ト云フモノヲ無償デ付與スルコト云フコトニナッテ居リマスガ、倍此二割ト云フコ
トハ成程數字ノ上ニ於テハ二割デアルガ、之ヲ實際ニ施行スル場合ニ於テハ二割ト云フ
コトハ頗ル時ニ依テ厚薄ガアラウト思フ、一割ヲ無償デ付與スルコト云フコトノ理由ハ何レ
ノ點ニアルカ、或ハ此土地ヲ開墾スルニ付テハ、薪炭其他必要ナ材料ヲ要スルタメニ、
二割ト云フモノヲ無償デ與ヘルト云フコトハナイカト察セラレマスガ、果シテサウ云フコ
トアレバ甲乙丙丁ト云フ土地ニ於テハ、同ジク二割ト云フコトニナッテモ大變ナ相違ガ
アリマシテ、謂ハシ甲ノ方ノ一割ハ價值ニシテ千圓ノ値打ガアルモノトスレバ、乙ノ方ノ二
割ハ價值ニシテ十圓ノ値打ホカナイ、サウ云フ差モアリマスマイケレドモ、實際ニ於テハ大
變ナ等差ガアラウト思フ、是等ニ付テ一割ヲ無償デ付與スルコト云フ理由、即チ是ガ目的
ニ副フヤウニ公平ニアルコトが出来ルヤ否ヤト云フコトガ第三ノ疑點デアリマス、ソレカラ

第四ニハ有價賣拂ノ代價ト云フモノハ、貴族院デ修正ニナッテ居リマスガ、此評價ノ方
法デアリマス、實際之ヲ貸付若クハ賣渡スル場合ニ於ケル評價方法ト云フモノハ、如
何ナル方法ヲ以テセラル、ノ御考デアルカソレヲ一應伺ヒタイ、ソレカラ第五點ハ競願ト
云フコトガアツタ場合ニ於テハ、是ハ前回質問ヲシタキニ、必ズ其人ノ資格或ハ實力
等ニ付テ誠實ニ開墾ノ目的ヲ達スルニ適當ナル上ニ於テ定メルト云フ御答デアリマシタ
ガ、是ハ所謂彼ノ弊害ト云フコトニ付テ、頗ル本員ハ杞憂スルノデ、マア一ツノ場所ニ
付テ二人位ノ競願ガアルト云フ場合ナラバ宜イデセウガ、其場所ニ向ッテハ多數ノ競
願者ガアル、初メニ公示スルコト云フコトデアルカラ、其公示ニ基イテ利益ノアル所ニ向ッテ
ハ多數ノ望ミ手ガ出ヤウ、斯ウ云フ場合ニ至ッテ唯タ甲ハ其資格ハドウデア、乙ノ方ハ
實力ガドウデア、ソレヲ判断ハ、當局者ノ判断ニ任スコトニナレバ、即チ是ニ於テ
所謂運動請託ト云フヤウナコトガ起テ來ル、斯ウ云フ場合ニ於テ頗ル弊害ガ生シハセ
ヌカト本員ハ憂ヘルノデア、是ニ對スル處置ハ如何ナル御考デアラウカ、是ガ第五點デ
アリマス、次ニ第六ト致シマシテ、北海道ハ是モ前回ニモ質問ヲ致シマシタガ、到ル處金
利ト云フモノガ非常ニ高イ、殆ド内地ニ例ノ無イヤウナ金利ガ高イノデアリマス、是ハ確
ニ北海道ノ總テノ事業ニ於テ進歩ノ一ノ障礙ニナッテ居ルコト思フ、其原因ハ何レニアル
カト云フト、要スルニ資本ノ注入ガ少イカラデア、又現在北海道ノ總テノ輸出入ト云
フ點カラ見マスルト、即チ北海道ニ於ケル輸入出入ハドウデア、カト云ヘバ、マダ今日迄ハ
年々輸入ノ方ガ頗ル超過シテ居ル、即チ北海道ノ金ハ自然ニ輸入ノ超過ノタメニ他ニ
出ルトコロノモノガ多イト云フ傾ニナッテ居ルヤウニ統計ノ上デハ認メルノデアリマス、ソコ
デ北海道拓殖ト云フ大體ノ方針カラ見レバ、北海道ニハ成ルベク多ク資本ヲ注入シテ
金利ヲ廉クシテ、總テノ事業ニ便ナラシムルト云フ方法ヲ執ルノガ第一ノ北海道政策ト
シテハ、注意スベキ事柄デアラウト思フ、ソコデ本員等ノ憂フルトコロハ、前回ニモ述ベマ
シタ如ク、從來無償デ貸付ヲシテ居ッタモノガ、今回ハ此不毛ノ地ニ往ッテ開墾ヲナスニ
モ、先ヅ最初ニ土地ヲ買受ケナケレバナラヌ、從ッテ所謂當局者ノ期待サル、トコロノ相
當ノ資本、相當ノ實力アルモノヲ成ルベク未開地ニ導クト云フヤウナ上ニ於テ目的ニ相
違スルトコロガアリハセヌカ、唯實ウニシテモ金ガ要ルノデア、或ハ正當ニ買受ケルト云
フコトニナレバ却テ金ガ要ラヌカ知ラヌガ、併シソコラガ人情ノ趨クトコロデア、先ヅ北
海道ニ往ケバタダ數百町歩ノ土地ヲ貴ヘル、サウシテ是ニ相當ノ施設ヲスルコトニナレ
バ、大ニ子孫ノ計ノ種、其他ニ於テ利益デア、斯ウ云フヤウナ一ノ希望ヲ懷イテ、サウ
シテ内地ノ資本家又相當ナル人々ガ先ヅソレナラバヤッデ見ヤウカト云フ考ヲ起スノデア
然ルニ今度ハサウデナイ、先ヅ第一ニ土地ヲ買ハナケレバナラヌ、而モ十年間嚴重ナル規
定ノ下ニ北海道ニ實行ヲ舉ゲナケレバ買受ケタトコロノ代價モ、法律ノ規定ニ據テ沒收
セラルト云フ場合ガアル、斯ウ云フヤウナコトデアッタレバ、所謂相當ナル實力ノアル者ハ、
北海未開ノ地ノ交通其他總テノ周圍ノ事情ニ於テモ、極メテ不便ナル場合ニ居ルコ
トが出来ルカ、是ガ私共ガ最モ今後拓殖ノ上ニ於テ、杞憂ヲ懷ク點ガ、全ク
其處ニアルノデアリマス、繰返サウデアリマスガ、多少ノ運動ヲシ、無償デ貸付テモ費
用ガ掛ッテ居ル、ソレハ無償ト云フモノデアッテモ、遣リ掛ッテ見ルト餘計ナ費用ガ掛ルガ、
無償デカラ自然ニ先ヅヤッテ見様ト云フ考ヲ起サウナモノデア、頭カラ買フノデア

ト斯ウ云フコトニナルト、其點ニ於テモ一般ノ見ルトコロハ北海道ニ志ヲ寄スルトコロノ者ニ於キマシテモ、先ヅ冒頭ニサウ云フ金デ買フト云フ感ヲ起シテ、此立案ノ目的ニ於テ大ニ齟齬ヲ來スヤウナ憂ハナカラウカ、ソレカラ北海道總テノ經營ニ於テ、必ズシモ北海道カラ出ルトコロノヲ以テ北海道將來ノ事業費ニ當ルト云フ限リデハナイト云フコトハ、前回ニモ政府委員ノ答辯ガアリマシタガ、併シソレハ所謂一般會計ト云フコトニ線込マレテアルト云フハ名ノミデ、其實ハサウデナイ、北海道ハ北海道ノ經費ヲ以テ、サウシテ將來ニ對シ致スベキ事業ニ應ズルト云フハ、即チ此計畫ノ本旨デアリマス、サウ云フコトハ徒ラニ名ニ街ハズシテ、其實ニ據テ御答辯ヲ願ヒタイ、又今日ノ我國ノ財政ノ現況ト致シマシテハ、北海道ニ特ニ一般會計カラ持出シテ、北海道ノ事業ニ當テルコトハ出來マセヌ、ソレハ豫算ノ編成ガサウナッテ居ルカラ、サウダト云フヤウナ二百のノ理屈ハ止メテ、兎ニ角北海道ハ北海道ノ收入ヲ以テ北海道ニ當テ、是ハ私共ノ北海道ニ對スル意見トシテハ、所謂北海道ハ獨立シ、完全ナル特別ノ計算ニ依テ施設ヲシタガ宜イト思フ位デア、即チ今日長官ノ意思モソコニアラウト思フ、故ニ若シ此目的ガ全ク實際ニ於テドウスルト云フコトニナッタラバ、實ニ於テ水泡ニ屬スルトコトニナリハシマイカ、此點ハ頗ル憂慮スルデア、唯目前ノ辻褄ガ合ッテ理屈バカリ合ハバ宜イト云フノデハナイ、何トナレバ北海道ノ經營ハ今日マデ屢々長官ガ變リ、其變ル度毎ニ一休ノ方針ガ變ルト云フヤウナコトデ、是ハ北海道將來ノタメニ於テ、頗ル杞憂ノ點デアリマス、故ニ長官ガ變ラウトモ何ガ變ラウトモ、今日ノ北海道トシテハ所謂北海道ノ道是ト云フ大方針ガ定ッテ、少ナクモ其目的ヲ達スルマデハ此方針ノ變ラザランコトヲ、北海道ノタメニ寧ロ國家ノタメニ希望スルデア、故ニ唯紙上ノ理屈ト云フモノガ纏リマシテモ、辻褄ガ合ッテモ、實際ノ計畫ヲセラレタトコロノ其目的ニ副ウコトガ出來ヌコトニナレバ、再ビ方針ヲ變ヘナケレバナラヌト云フヤウナ結果ニナルデア、所謂是等ノ點ニ於テハ、理屈デナク、實際上此北海道ノ經營ノタメニ十分ニ即チ誠實ニ其御方針ヲ承リタイト斯ウ思フデアリマス、尙今ノ御尋ニ附帶シテ置キマスノハ、單リ此案ニ付テ居リマスモノ、ミナラズ、總テノ新經營其他ノ上ニ於テ、假令バ今回設計シタトコロノ小樽築港ノ費用等ニ當テル費目、又はニ副ウテ將來施設ヲセラル、トコロノ財源等ニ當ルベキ總體ノ金高、又はニ於テ施設セラルベキトコロノ凡ソノ方針ガアレバ、ソレ等ノコトモ願クハ御話ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ第七點ニ於テハ、先ヅ輕微ナル問題デアリマスガ、成功檢査ハ規定ニ據リマスルト隨時ニ行フト云フコトガアルヤウデアリマス——勅令案ノヤウデアリマスガ、併シ前回ノ委員會ノ答辯ヲ見マスルト、從來ノ如クデナクシテ、成ルベク最終ニヤルト云フヤウナ譯ニナッテ居ル、然ラバ是モ明カニ此草案ノ腹案トシテハ、ヤハリ其事ヲ明記セラレタ方ガ宜イト思フ、隨時ニ行フト云フコトヲシテ置カナクテ必ズ事業ノ最終トカ云フヤウナコトニ行フト云フコトヲ明記シタ方ガ宜クハナイカト思フ、先ヅ大體ニ於テソレダケノ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御尋ニ對シテ第一カラ御答致シマス、第一ハ北海道ノ牧場ニ牛馬ノ數ガ如何ナル割合ヲ以テ増加シテ居ルカト云フ御尋ト思ヒマスガ、永イコトヲ申シマス明治三十年ト二十九年ヲ比較申シマスルト、三十年カラ二十九年ノ間ニ於テ牛ノ數ハ二倍ト少シ以上ニナッテ居リマス、即チ三十年ニ於テハ一千四百四

十七頭居リマシタノガ、二十九年ニ於テハ五千二十九頭ニナッテ居リマス、ソレカラ馬ノ數ハ三十年ニ於キマシテ、二十九年ヲ比較致シマスルト、殆ド二倍ニナッテ居リマス、即チ三十年ニ於テハ二百二十五頭アツタノガ、二十九年ニ於テハ一万八百三十頭ト云フコトニナッテ居リマス、今日マデ此牧場經營ニ付キマシテハ、實ハ北海道ノ牧場ハ有爲デアルト云フコトハ、多少世間ニモ知ラレテ居リマスルケレドモ、進歩ハ甚ダ遅ヤトシテ居リマスルガ、御案内ノ如ク、近來ハ種馬牧場馬政局ヲ始メシテ、陸軍ノ軍馬補充部モ設置セラレテ、北海道ノ牧畜ニ適スルト云フコトハ漸ク認メラレテ、牧畜業ノ前途モ有望デアルト云フコトモ、世間ニ知ラレテ居リマスカラ、過去ヲ以テ將來ヲ察スレバ、將來益々有望デアルト云フコトガ認メ得ラレコトデゴザリマス、ソレカラ耕地開墾費ノコトノ御尋ガゴザリマシタガ、耕地ノ方ハ是ハ場所ニモ依リマスシ、地質ニモ依リマスガ、即チ樹木ノ在所、或ハ惡草ノ繁茂シテ居ル所等ノコトカラ、土地ノ開墾費モ違ッテ居リマスガ、北海道ハ今日一反歩五圓平均ト申上テ大過ナカラウト思フ、牧場ニ於キマシテハ是ハ大キナ仕事デゴザイマスカラ、僅カナ資本デアルコトハ固ヨリ困難ナコトデゴザリマスカラ、小サイコトヲ見込シテハ今持合セハゴザイマセヌガ、大キナモノデハ五百町歩ノ面積ニ於テ、牧場ヲ假リニ開墾スルト云フコトニ付テハ大凡ノ設計ヲ致サセマシタモノニ依リマス、是ハ十二年目マデノ設計ヲ一通リ致シタノデゴザリマスガ、申ス迄モナク是等ノ事業ハ右カラ左ニ金利ヲ見テ收益ヲ計ルト云フコトデハ出來マセヌ、普通ノ開墾ト違ヒマシテ、多少年月ヲ待タナケレバ成功ノムヅカシイモノデゴザリマス、ソレデハ十二年目マデ計算致サセマシタモノニ依リマス、是モ相當ノ利益ヲ得ルコトノ結果ニナルノデゴザリマス、ソレデハ私共ノ調ベサセマシタモノニ依リマス、十二年簡年ニ於キマシテ經營ノタメニ要シテ居ル收入ハ、二万七千三百四十八圓、之ニ對スル支出ハ一万九千九百九十九圓ト云フコトニナッテ、差引七千二百四十九圓ト云フコトニナリマスケレドモ、併ナガラ事業ガ事業デゴザリマスカラ、其間ニ於テ是等ノ收益モヤハリ固定資本等ニ注入致シマスタメニ、事業ノタメニ收益ヲ見ルコトニナリマスルノハ、全ク十二年目以後位デナケレバ本當ノ收益ハ見ラレナイ調査ニナッテ居リマス、ソレカラ此度賣拂フニ付テ其ノ價格ヲ申上デマスルト、農耕地ハ五百町歩ヲ最大限ニ致シ居リマス、土地代ト立木代ヲ合セテ總額ガ七千三百七十圓ト云フコトニナリマス、併ナガラ其中木代ト云フモノハ五千二百二十圓アリマスカラ、土地代ハ僅ニ五百町歩ニ對シテ二千二百五十圓シカナイノデゴザリマス、牧場ノ方ハ最大限ガ八百町歩デゴザリマス、又土地代金ハ一町歩三圓以内トシテアリマスカラ、其金デ計算サスレバ總計デ一万五千九百九十二圓ト云フコトニナリマスケレドモ、其中八千九百九十圓ト云フモノハ木代ニナッテ居リマス、差引マスト二千四百圓ト云フモノガ地代デゴザリマスカラ、此法律ノ改正ノ結果ト致シマシテ、代價ニ對シテ相當ノ資本額ヲ増スト云フ精神カラ申シマスレバ、五百町歩ナリ八百町歩ナリノ大事業ニ從事スル人ガ、僅ニ千圓位ノモノヲ資本トシテ投ジタトコロデ、影響ハ格別ナイト云フコトヲ認メテ居リマス、ソレカラ次ニハ立木八十尺ノ根據ハドウカト云フ御尋デゴザリマシタガ、是ハ現在未處分ノ未開地ガ百万町歩アリマス、又國有林ノ中カラ追々未開地ニ編入セラル、モノガ六十七万町歩デアリマス、其六十七万町歩ノ中ニ於キマシテモ、二割ト云フモノハ或ハ河川モゴザイマス、又木ノナイ所モアルト認メマシテ、二割ダケ除キマ

シテ、残り五十三万六千町歩ニ對シテ、一町歩百五十尺ノ材積アルモノト認メマシタ、是ハ現在ノ國有林ノ面積デゴザイマスカラ、此國有林カラシテ未開地ニ編入スベキ豫定地ノ材積ノ大凡調査ガアリマス、其調査ニ依ルト、可用立木ノ材積ハ百五十尺メト見テ居リマス、又今申上ケマシタ未處分ノ未開地百方町歩中ニ二十九方町歩ノ泥炭地ガアリマスカラ、之ヲ差引キマスト六十一万町歩ゴザイマス、併ナガラ是ハ今日マデ未開地トシテ取扱テ居ルカラ、國有林トハ違ヒマスカラ、其半分ハ全ク立木ノナイ土地ト認メテ、其一通リノ調査ノ上カラ申上ケルノデゴザイマス、二十万五千町歩ニ對シテ、一町歩ニ對シテ七十五尺メノ木ノアルモノト認メマス、ソレデゴザイマスカラ、總體ノ町歩ニ對シテ材積ヲ平均致シマス、將來處分スベキ未開地一町歩ニ付キ八十尺メノ平均ニ當リマス、ソレデ今日マデノ調査ハ今申上ケマシタ率ヲ以テ平均シマシタ上カラ、立木ノ材積ガ八十尺メト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ立木ノ八十尺メハ、可用立木ノ其土地ニ存在シテ居ル總テノ木ヲ包含シタモノデアリマス、今日用ニ立ツ木ヲ申シマスノデゴザイマスカラ、或ハ大キクアリマシテモ用ニ立タヌ腐朽ノモノナドハ、此内ニ這入ッテ居リマス、又極ク細イ木モ計算シテ居リマス、可用立木ト云フモノ、見込ヲ立テタノデゴザイマス、ソレカラ一割ヲ耕地牧場ノ大地積ニ對シテ存置シタ理由ハ、是ハ御案内デゴザイマセウガ、現在ノ處分モサウナツテ居ルコトデゴザイマス、併ナガラ此案ヲ立テマシタ當時ノ考ハ、大地積ノモノニ對シテ二割ノ木ヲ存置シテヤルト云フマデノ必要ハナイ、ナゼナラバドウモ資本家デアアルカラ、是マデニセヌデモ宜カラウト云フ考デゴザイマシタケレドモ、尙貴族院ニ於キマシテ大地積トハ云ヒナガラ小作人ヲ入レルニ付テハ小屋料モ要ル、是等ニ對シテモ便利ヲ與ヘナケレバナラス、又牧場ニハ事務室宿舍等ニ供スル材メデアリマス土地ノ評價ヲ如何ニ定メルカト云フコトデアリマス、今日ハ勅令ニ於テ最高限ヲ規定シテアリマスガ、如何ニ評價スルト云フコトノ案ハ出來上ツテ居リマセヌ、私共ノ考案トシマシテハ、北海道全体ニ互ル重大ノ事デアリマスカラ、評價人ヲ組織シテ鄭重ニスル積リデアリマス、評價ハ今日ノ定メ方ハ相當ノ官吏ヲ以テ組織シテ居リマスガ、ソレモ惡イノデアリマセヌガ、判任官ヲ以テ組織シテ居リマスカラ、將來ハ尙鄭重ニシテ高等官モ加ヘテ評價ノ方法ヲ定メナケレバナラヌト思フ、若モ競願ガアツタ場合ハ、如何ナル採擇ノ方法ニスルカト云フコトデアリマスガ、土地ノ賣拂ヲ出願スルニハ、一通リノ資格ヲ定メマスガ、其上ニ於テ同等ノモノデアリマシタナラバ、先ヅ當局者ノ認定ニ任セルヨリ外ニ途ハナイト思ヒマス、併ナガラ場合ニ依テハ、土地ノ情況ニ依テ有資格者ヲ以テ競争ニ付スルモ宜カラウト思ヒマスガ、多クノ場合ニ於テハ先ヅ同資格ノ者ガ多數アツタ以上ハ、ドウシテモ當局者ノ認定ニ御任せ下サルヨリ途ハアルマイト思ヒマス

○政府委員(河島靜君) 第七ノ御尋ハ寧ろ御意見デアツテ、將來ノ拓殖ノ政策ノ必要ヲ示スモノデアアル、要スルニ北海道ハ臺灣樺太等ノ如ク、特別會計ヲ以テ將來ノ發展ヲ圖ルト同時ニ、維持ヲ爲サナケレバナラス、必要ナル設備ヲ完カラシメナケレバナラス、若シ北海道ノ拓殖行政ヲ定メルニ當ツテ、今日ノヤウニ臺灣樺太若クハ朝鮮等ノ如キモノガ同時ニ起リマシタナラバ、北海道モ同様ノ制度ヲ採ツタカモ知レヌノデアリマスガ、北海道ハソレト反對ニ出マシテ、他ノマダ十分ニ開ケナイ時ニ當ツテ、内地同様ノ會計法ヲ定メ、殆ド同一ノ方法ヲ施行セラレ、遞信省所管モ農商務省所管モ置カレテ

アル、是等ハ各府縣ノ如ク、北海道ニ於テ勉メテ内地ノ諸制度ヲ以テ速ニ其目的ヲ達シサセヤウト云フ方針デアツタト云フコトハ、今日推測シナケレバナラスガ、併ナガラ實體カラ言ヘバ、今日モ尙内地同様ノ制度ヲ敷キ、是ニ據ルト云フコトハ甚ダ窮スル點ガアル、殊ニ人ノ供給ハ御意見ノ如キ有様デアアル、今日北海道ヲシテ臺灣樺太ノヤウナ經濟ニ爲サウト云フハ困難デアアル、北海道ニハ巨額ノ財源ガアルガ、其重立ツモノ、中、漁場、鑛山、鐵道等收益ノアルモノハ殆ド民有ニ歸シテ居ル、尙幾分ノ收益ヲ得能フモノハ、土地ノ賣拂、森林ノ整理ニ外ナラス、臺灣樺太ノ如キ收入ヲ、北海道ガ所有スルコトガ出來タナラバ、國庫ノ補助ヲ仰ガズシテ、獨立ノ經濟ヲ持ツコトハ十分デアツタト思ヒマスガ、今日ハサウハ往キマセヌ、今日新財源ヲ得テ將來ニ計畫スル希望ハ澤山アリマスガ、今日北海道ノ經常臨時ノ費用ノ外、政府ヨリ年限ヲ附シテ受ケテ居ル金員モ夥シイ、即チ道路、橋梁、排水等ノ工事モ十年間ニ千萬圓、本年幾分減額ニナツタガ、年々八十万圓ノ支出ガアル、地方稅ノ補助トシテハ年々低減スルコトニナツテ居リマスガ、四十二萬圓ヲ仰イデ居ル、是ハ地方稅ニ於テハ四十二年度ヲ以テ終トナリ、道路、橋梁、其他ノ補助費ニ付テハ、四十六年ニ終リニナルコトニナツテ居ルガ、是等ノモノハ其年限リテ完結ハ出來ナイ、更ニ若干ノ下附ヲ受ケテ、是デ經營シ來ツタモノヲ一層整理スルノ方針ヲ執ラナケレバ、北海道ノ實力ヲ以テ完カラシムルコトハ出來ヌト考ヘマス、一方ニ於テハ港灣ノ修築、治水等北海道ノ拓殖上最モ急要ヲ感ズル補助機關ノ設備ヲシナケレバナラス、是等ノ支出ヲ國庫ニ仰ガウツレバ、今日ノ經濟上北海道自身ニ將來新財源ヲ發見スルコトガ出來ナイ、甚ダ今日ノ經濟上ノ有様ガ困難デアアル、先ヅ政府モ他ノ財政ニ累ヲ及ボサズシテ、北海道ノ經營ニ就テハ北海道ヨリ收入シ得ベキ財源ヲ以テ之ニ供スルト云フヤウナ政策ヲ取ラナケレバナラヌト思フ、デ北海道ノ前途ノコトニ付テハ、何シロ今述ベマシタ如キ狀況デアリマスガ故ニ、今日ノ國家ノ現狀ヨリ推シテ、北海道ノ拓殖ヲ特ニ之ヲ速成セシムルト云フコトモ必要デアラウシ、又北海道ノ是マデノ財源ヲ悉ク復舊シテ是ガ經費ニ充アルト云フコトハ是又出來ナイコトデアアル、サウスレバ何シロ今日此處ニ提出ニナツテ居ルヤウナ方法ニ依ツテ、財源ヲ得ル途ヲ立テナケレバナラス、且又其財源ヲ得ル計リデナク、其財源ヲ得ル共ニ過日モ申上ケマシタ如ク、是ハ前任者ニ於テモ已ニ同一ノ方針ヲ以テ手付金ヲ以テ成功金ヲ得ルノト前ニ相當ノ値段ヲ得ルノトノ方法ハ違ヒマスケレドモ、弊害ヲ矯正シ財源ヲ求ムル上ニ於テハ同一デアリマス、前任者ハ數年居ッテイロノ計畫モアリマシタラウシ、後任者ノ本員ニ於テモ丁度前任者ノ立案シタモノヲ修正スルコトニシテ提出スルコトニナツタ、且又北海道未開地處分法ハ一日モ猶豫ガ出來ナイ、今日實施シマセヌト即チ舊法ニ依ツテ往カナケレバナラス、外ノモノナラ一年ナリ二年ナリノ猶豫モ出來ルケレドモ、北海道未開地處分法ニ於テ、土地ノ檢査ノコトハ一日モ猶豫ガ出來マセヌカラ、若シ此法案ガ今日成立ナカッタナラ、舊法ヲ以テ實施シナケレバナラス、舊法ヲ以テ施行シテ往ケバ其利害ハ果シテドウデアアルカト云ヘバ、事務ノ進捗上諸般ノ弊害モ少ナカラズ、又之ヲ活用スル途モ乏シイト思ヒマス、併ナガラ其活用スル方法ハ、素ヨリ當局者ハ責任ヲ以テ大ニ注意ヲ加ヘナケレバナラス、ケレドモ何シロ現行ノ法律ハ一日モ速ニ改正シテヨリ其キ方法手段ニ依テ北海道未開地處分ヲ進捗セシムルト云フコトハ、最モ必要ト認ム

ル次第アリマス、尙又此成功検査ノコトニ付テノ御問アリマシタガ、此成功検査ノ
勅令ノ精神ニ就テハ、丁度御述ベニナツタヤウナ趣旨アリマス、大地主ニ對シテハ二分
ノ一トカ何トカ十年ノ年限ノモノトシマシタナラバ、毎年アツタモノヲ一二三回ニ止メル
トカ、或ハ無償貸付ノ政策、即チ小地主ニ對シテハ幾ラカ從前ノモノニ加減シナケレ
バナラヌガ、大地主トハ區別ヲシナケレバナラヌ、又ハ八分通り成功スレバ權利ヲ付與スル
コトニナツテ居リマス、有償貸付ニ付テハ一人分五百町以内、五人即チ二千五百町步
ノ共同事業ヲ要スルノデアリマスガ、ソレ等ハ取捨設定シナケレバナラヌト思ヒマス、何レ
夫等ノコトハ細則ヲ以テ定メル積リデアリマス、何シロ一方ニ於テハ内地ヨリ資金ヲ投ジ
テ、サウシテ拓殖ニ從事スル大地主ニ對シテハ、出來ルダケノ保護出來ルダケノ便宜ハ
與ヘタイト思ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 是ヨリ逐條ニ入ッテ質問シタ方が便宜ダラウト思ヒマスガ
ラ、ドウカサウ云フ事ニ……第一條ニ就テ御質問下サルヤウ……

○中西六三郎君 第一條ノ場合ニ於テ御尋ヲシテ置キタイコトガアリマスガ、此未開
地ト云フ文字ノ意義、此意義ガドウ云フモノデアルカ、今日ノ國有未開地處分法ニ於
テ、解シテ居ル所ノ未開地ト云フモノハ、解釋ノ上ニ於テモ實際ノ扱ノ上ニ於テモ、立
木ヲ包含シテ居ルノデアル、本地ノ場合ニ立木財源ヲ所管セシムルト云フノハ、畢竟戻
スモノノ現狀ニ恢復セシムル賠償ノ意味ニ於テモ、貸付ケテ居ルトコロノ即チ土地ノ上ニ
ハ立木ヲ附帶セシメテノ解釋ニナツテ居ル、然ルニ此本法ヲ見マスト云フト、法文ノ上ニ
ハ何等ノ規定ヲ見出シマセヌケレドモ、勅令草案ニ依リマス、可用立木即チ用フベキ
端竹ト云フモノヲ別ニ賣拂フト云フコトニナツテ居ル、此第一條ノ所謂未開地ト云フモ
ノハ、立木ヲ含蓄シナイモノデアルト、斯ウ解釋スベキ法文ト見ルガ相當デアルカ、若シ
又サウ見ルト云フト直チニ可用立木ノミナラズ其他ノ立木モ國庫カラ分離サレタル觀念
ヲ持タナケレバナラヌガ、取扱ハ單リ可用立木ニ付テ分離シテ扱ハレテ居ルノデアル、故
ニ本員ハ之ヲ解釋スルニハ此處ニ所謂未開地ト云フモノハ、ヤハリ現行ノ未開地處分
法ノ未開地ト同意味デアルト云フケレドモ、特ニ可用立木ト云フモノダケハ、有償ノ
處分ヲスルモノト見外ハナイカト云フ考ガ起ルノデアル、是ハ原案者ハ如何ナル意見ヲ
持ッテ見ラル、カ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御質問ノ未開地ノ意義ニ付キマシテハ、御解釋
ノ如ク現行法ト少シモ區別ハ致シマセヌ積リデゴザイマス、區別致シマセヌト申シマス、
唯今ノ御説明ノ如ク、ソレナラバ立木ノ處分ニ付テハ現行法ト違ヒハセヌカト云フ御尋
デアリマスガ、現行法モヤハリ立木ハ未開地カラシテ分離シテ今日處分シテ居リマス、ソ
レ未開地ノ土地ト立木ト共ニ處分シナケレバナラヌカ、區別シテモ宜イカト云フコトハ、
法律上ニ於テ認メテ居リマセヌ、ソレデゴザイマスカラ、今日ノ如ク國ノ財産ト致シマシ
テ、詰リ其處分スル時ノ方法手段ニ依ッテ區別致シマシテモ差支ナイコト、信ジテ居リマ
ス、ソレデゴザイマスカラ、未開地ノ文字ノ意味ニ付キマシテハ、現行法ト少シモ違ハヌト
思ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 未開地ニハ立木ハ這入ラヌト云フノデスカ
○政府委員(黒金泰義君) 這入ラヌトマデモ申スベキデモナイト存ジマス、何故カト申

ジマスト這入リマシタコロデ、詰リ國家ノ財産ヲ處分スルノ一ノ方法デゴザイマスカラ、
土地ト立木ト共ニ致シマシテモ、又土地カラ分離致シマシテモ、分離シテ處分スル方法
ト區別致シマシテモ、其成績ニ於テハ同ジコトデアルト思フ、何トナレバ今日ノ法律ト雖
モ第三條ノ特定地ハ土地モ立木モ、共ニ併セテ其人ノ自由ニ任セテ置ク、サウシテ若シ
モ成功シナカッタ時ニハ、現行法ノ如ク賠償金ヲ取ルト云フコトニ致シテ居ル、サウ云フ
精神ニ依テ又第二條ノ賣拂ヒマシタ土地ト雖モ、二割ダケノ樹木ハ若シ成功シナカッ
タナラバ、樹バカリ取ツテ之ヲ處分スルコトニナツテ居ル、ソレデゴザイマスカラ、改メテ未開
地カラ土地ヲ分離シテ云フ觀念ヲ持チマシタノデゴザイマセヌ、ヤハリ分離致シテモ致シ
マセヌデモ、處分法トシテ解釋シテ現行法ト同意味デアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 這入ッテ居ルト云フ意味デスカ
○政府委員(黒金泰義君) 這入ッテ處分シテモ宜カラウ

○委員長(宮古啓三郎君) 宜カラウヤナイ、未開地ト云フ中ニハ、土地ノ上ニ附着
シテ居ルモノ、即チ立木ハ這入ッテ居ルデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 左様デゴザイマス、區別セヌ限リハ這入ッテ居ルモノト御
覽下スッテ宜シウゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) ソレニ付テ御尋シマスガ、豫算委員會ノ分科會ノトキニ
チヨット質問シタコトガアリマスガ、現時ニ於テハ立木ノ二割ヲ受貸付人ニ與レテ八割ヲ
政府ニ取ル、斯ウ云フ取扱ニナツテ居ル、然ルニ立木ヲ全部與レルト云フノハ即チ現行
法ノ精神デアツテ、木ノ二割ダケヲ與ヘテ、他ハ與ヘヌト云フトハ現行法ノ意味ト違フ
譯デアツテ、其點ニ對シテハ少シク法律ニ違フ處分デアルハナイカ、ト云フコトヲ御尋
シタコトガアリマスガ、今モサウ云フ觀念ガ起ルノデ、即チ現行ノ法律デハ、土地ノ立木ヲ
付與スルト云フコトニナツテ居ル、若シ付與スルコトノ出來ナイノ今マデ付與シテ居
ナラバ、國ノ財産ヲ法律ニ基カズシテヤルト云フコトニナルカラ、今マデ八分國ノモノニ
シテ、二分ダケヲ與レルト云フ遺方ハ少シク法律ニ違フ處分デアルハナイカ、本案ノ通りニ改
メレバ別デスケレドモ、サウデナク現行法ノ儘デアルト、法律ノ方カラ見ルト惡ルサウニ見
エマスガ如何デス

○政府委員(河島醇君) 事實ハ國有財産ヲ處分致シマスデゴザイマスガ故ニ、
其國有財産ト認ムルモノハ有償ノモノデナクテハナラヌ、併ナガラ從前ノ未開地處分ニ
付キマシテ、其立木ハ殆ど開墾上ニ於テ邪魔ナ物デアツタ、全ク價ノアルモノデナカッタ、
所謂國家ノ財産トシテ價ノ無イモノデアツタ、所ガ今日ニ於テハ立木其物ハ有償ノ物
デ、頗ル高價ナモノニナツタ、即チ國家財産ヲ處分スルニ於テ、無償ノモノハ之ヲ財産ニ
附帶シタ一物ト看做シテ宜カラウト思フ、併シ今日ハ立木ノ價ハ土地ヨリモ實價ノアル
モノデ、所謂國家ノ財産デアルカラ、之ヲ別ノ物件ト見テモ宜カラウシ、現ニ前議會即
チ二十二議會ニ提出ニナリマシタ北海道ノ經營案、ソレニ付キマシテハ丁度御述ベニ
ナツタ如ク、立木ハ其八分ヲ賣却シテ、之ヲ經營上ノ費ニ供スルト云フ方ノ目的ニナツ
テ居ッタ、其二分ハ之ヲ小作人ノ小屋建其他ニ供スルト云フデアツタ、其方ガ既ニ上院
ヘ提出セラレテ審議中バニ、年度ノ半デアルガ故ニ、當時廳令ヲ發シテ二分通り與ヘ、
八分通りハ賣拂フ、所謂國家ノ財源トナルベキコロノ價ノアル樹木ハ之ヲ賣拂フト

ニ致シマシタ、是ハ當局者ニ於テハ法律ト抵觸セヌモノト認メテ、即チ現行ノ如ク施行致シテ居ル次第アリマス

○淺羽靖君 唯今長官ノ御答辯ヲ伺ヒマス、樹木ノ價ノアルト云フ御答辯アリマスガ、本員ノ實見ニ依リマス、便利ナ所ハ價ガアルガ不便不利ナ土地ニアルモノハ價ガナイ、サウ云フモノヲ尙價アリトシテ此豫算ニ入レテアルノハドウ云フ譯デアラカ、ソレカラ第二ハ本案ガ地租條例ト抵觸スルトコロガアリハシナイカ、果シテアルナラバ何カ特別ノ取除法ガ無クテハナラヌト思ヒマスガ、地租條例ト對比シテ何等ノ差支ガナイト云フ御見込デアラカ、ソレヲ併セテ伺ヒタイ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ立木ノ價ノ無イ物ヲ賣ルト云フコトニ致シテ居ル理由ハト云フ御尋デゴザイマスガ、價額ノ無イ立木ヲ賣ルト云フ積リデハナイノデアリマス、此所ニ十六錢ト云フ平均額ヲ舉ゲマシタノハ、北海道全體ヲ申シマシタノデ、高イ所ハ三十錢モ四十錢モナリ、廉イ所ハ賣ラヌ所モゴザイマス、ソレデアリマスカラ、價額ノ無イモノヲ強テ賣ルト云フ案デハナイノデアリマス、ソレカラ地租條例ニ抵觸シハセヌカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ毛頭無イ積リデアリマス

○淺羽靖君 價ノ無イ所ノ木ハ賣ラヌト云ハレルガ、其土地ハ賣ルノデアリマスカラ、ソレニ附ケテ吳レルノデアリマスガ、若シ附ケテ吳レナレバ官有物デアラカラ、何時マデモ開クコトガ出來ナイト云フコトニナリマスガ、如何デス

○政府委員(黒金泰義君) 詰リ木トシテハ價額ガアルヤウナモノデゴザイマセウケレドモ、經濟上ノ可用立木デナイカラ、コチラデ財産ト見マセヌカラ處分致シマセヌ

○淺羽靖君 此賣ルト云フ木ハ何寸以上ハ御賣リニナルノデアリマスガ、木ト云ヘバ皆木デアリマスガ、實際其生ヘタル所ヘ行テ見ルト、材木ニシテ賣レル木モアリ、炭ヨリ外ニ仕方ノナイノモアリマス、又大小幾十種ニ分レルノデアリマスガ、木ト云ヘバモウ何モ彼モ不用ノ木デモ這入リマスガ、サウスルト材木トシテ賣レル木ノ外ハ吳レテシマウト云フ御意見デセウカ、ソレカラ其賣レル木ト賣レナイ木トノ區別ハ多大ノ旅費ヲ掛ケテ役人が全島ヲ一々木ヲ調ベ上ゲルノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(黒金泰義君) 先刻モ申上ゲマシタ如ク、立木ノ代價ハ詰マリ經濟上ノ價格カラ申シマスコトデゴザイマスガ、何寸以上ト申シマシタコトデ、必ズ五寸以上ナラ、五寸以上ハ何所デモ價格ガ同ジデアルト云フコトハ申サレマセヌ、極ク廉イ所モゴザイマス、高イ所モゴザイマス、土地ノ狀況ニ依テ値段段ノアル所モアリマセウカ、如何ニ値段ガアツテモ、極ク細イ所ノモマデ賣ルト云フコトハ致シマセヌガ、唯ドンナ物ヲ賣ルカト云フコトニナリマス、經濟上ノ關係デアラカラ、ソレハ一々斯ウ云フ木ハ何程、斯ウ云フ木ハ何程ト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、ソレヲ調査スルニハ無論實地ヲ調査シナケレバ分リマセヌカラ、旅費ヲ掛ケテ吏員ヲ派出シテ調査サセルノデゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) 第二條

○駒林廣運君 此第二條ノ賣拂ト云フコトガ本案ノ骨子デアリマセウカラ質問ガ起リマシタガ、是ハ結局意見ニ屬スルコトデ、賣拂ガ宜イカ、貸付ガ宜イカト云フコトニ付テハ、質問致シマセヌ、然ルニ黒金君ノ御答辯ニ依テ疑ノ起ツタノハ、全軀是マデ北海道ノ開發ガ思フヤウニ進マスト云フノハ、土地ヲ無償デ貸付ケルト云フノハ、其人ノ資格ヲ

定メテ、其資格ノモノデアレバ土地ヲ無償デ貸付ケテ開發サセルト云フヤウナコトカラシテ押シテ進マナイ、ソレデ今度此方法ヲ變ヘテ土地賣拂トシタ、賣拂トスレバ車夫デモ馬丁デモ土地ヲ買テ開發スレバ宜イコトニナルカラ、賣拂ト云フコトニ改メタ爲ニ、開發ガ進ムデアラウト云フ御目録デアラウト存ジテ居タ、然ルニ段々ナタカヘノ御答辯ニ依ルト、ヤハリ資格ヲ定メテ其以下ノモノニハ賣拂ハヌ、其以上ノモノニハ賣拂フト云フヤウナコトニスルト云フト、私ガ此賣拂ト云フコトニ付テ多少ノ利益ガアルダラウト考ヘルコトハ、全リ抹殺サレシマフ、ヤハリ政府ノ御意見デハ、此賣拂フト云フ上ニ付テモ、例ヘバ私ガ買フト云フデモ資格ガ無イカラ買ウコトガ出來ヌ、ソレ以上大地主カ多額納稅者デナケレバ賣ラヌト云フコトヲ、ヤハリヤカマシク是迄ノ如ク規定サレル御見込デゴザイマセウカ、最初ノ一致鏡顯ト云フコトニ付テノ質問ニサウ云フ意味ガアリマシタカラ、之ヲ明カニ御答辯ヲ願ヒテ置キタイ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御尋ニ付キマシテ御答致シマスガ、賣拂ノ方法ニ付キマシテハ、勿論賣拂ヲ受ケル者ノ一定ノ資格ヲ定メル積リデゴザイマス、サウデアリマセヌト詰リ誰デモ彼デモト云フコトニナリマス、金サヘ持テ行テ買テサヘ置ケバ宜イデヤナイカ、廉ケレバ宜イデハナイカト云フ形ニナリマシテ、開發ノ目的ハドウデアラウカト思ヒマスガ、賣拂フトコトモ畢竟ハ開發スル一ノ方法トシテ賣リマシタノデゴザイマスガ、其目的ヲ達シマスルニ付テハ、賣拂ヲ受ケマシタ人ノ十分資格モ定メナケレバナラヌコトト存ジテ居リマス、賣拂ヲ受ケマシタ者ノ資格ハ、是非一應定メル積リデゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) 第三條ハ質問ガアリマセヌカ——第四條——第五條——第六條——賣拂代金ノ定方ハ是ハ一度ニ最初ニ取ルト云フ御見込デアリマスガ、或ハ之ヲ何遍ニモ取ル御見込デスカ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ一時ニ拂ハサセタイ積リデゴザイマスケレドモ、唯一ツノ此處ニ此方法ヲ設ケタイ思ヒマスノハ、一時ニ拂フニハ相違ゴザイマセヌガ、一時ニ立替ニクイモノハ或ハ公債證書ナリ何ナリヲ擔保ニ供シテ、二年ナリ三年ナリニ拂テ宜シイト云フ一ツノ途ヲ設ケタイ積リデゴザイマス、併シ是ハ法文ニハ書イデハゴザイマセヌ

○中西六三郎君 チョット六條ニ付テ念ノタメニ伺テ置キタイノデアリマス、此處ニ「賣拂及貸付ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト斯ウ書イデゴザイマス、然ルニ此法ヲ通覽致シマスルト云フト、付與ニ關スルコトモ別ニ此法ニ規定ガナクシテ勅令ニ讓ラレテ居ル故ニ、一應ノ考デハ賣拂及貸付、付與ノ方法ト云フ文字ガアツテモ宜カラウヤニ思フノデアリマスガ、付與ト云フコトノ手續ハ、要スルニ貸付ノ方法ト云フ意味ノ中ニ含蓄シタモノト解釋シテ宜シイデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 畢竟スルニ貸付ノ結果トシテ付與スルコトニナリマスカラ、サウ御解釋下サツテモ差支ナイト存ジテ居リマスケレドモ、之ヲ付與スルコトニ付キマシテハ別ニ方法ハ勅令デ規定ヲ致シマセヌデモ、最早法律ノ條文ナリ勅令ノ條文ニ適合シタルモノハ付與スルダケノ手續デアリマスカラ勅令デモ差支ナイ、詰リ附與スルニ付テハ先デ假登記ヲシタ後ニ之ヲ登記所ニ通知シテ、所有權ヲ完全ニシテヤルト云フニ過ギナイノデアリマスガ、別ニ是ハ勅令デ定メマセヌデモ宜イ積リデゴザイマス、或ハ勅令ヲ以テ登記所ヘ通知ノ方法ナドヲ規定スルカモ知レマセヌガ、是ハ別ニ勅令ヲ以テスル意味デ

ハゴザイマセヌ、尙又貸付ノ延長ト御覽下サツテモ差支ナイデラウト思ヒマス

○中西六三郎君 ちヨット私ノ疑問ハマダ要領ニ達シテ居リマセヌガ、第三條ノ第二項ヲ見ルト云フ「特定地ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ無償ニテ貸付シ成功ノ後之ヲ付與ス」ト書イテゴザイマス、此二項ノ規定ヲ見ルト、勅令ノ定ムル所ト云フ文字ハ「貸付シ」ト云フ手續ニ關スルコトデアル、ソレカラ付與ト云フコトハ、現ニ成功ノ後ト云フ條件ガ附イテ居ル、此法文デハ第三條ノ特定地ヲ付與スルコトハ即チ成功ノ後ト云フ明文ニ基カナケレバナラヌ、然レドモ勅令ヲ見マスルト云フト、全部ノ成功ヲ俟タズシテ、六分成功シタル場合ニ於テハ付與スルコト云フ規定ガ見ユルデアリマス、サウスルト云フト嚴格ナル法律上ノ解釋ト致シマスルト云フト、第三條ノ第二項ニ法律ガ定メテ居ル、成功ノ後ト云フ事柄ヲ殊更ニ勅令ヲ以テ輕減スル、即チ四分通りマダ成功セザルモノヲ付與スルト云フヤウナコトニナツテ來ルカラ、正當ノ議論トシテハ稍々妥當ヲ缺グコトニナルデラウト思ヒマスケレドモ、本法ガ勅令ニ讓ラレタル範圍ハ第六條ニ於テ貸付ノ方法ト云フコトデアル、此方法ト云フ文字ヲ廣義ニ解釋シテ是等ノコトヲ含蓄シテ居ルト看做セバ宜イコトニナルノデス、若シ之ヲ狹義ノ解釋ヲ取リマスルト云フト、ドウシテモ第三條ノ第二項ノ、詰リ勅令ト云フハ貸付ノ手續ニ關スルコトデアル、付與ハ成功ノ後ト云フ法文ニナルコトデカラ抵觸ヲ來ス恐レガアルカラ、入念ヲ致スノデアリマス、ソレハ差支ナイト云フノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 此六分以上ノ成功ト云フコトハ、是ハ成功ノ程度ヲ示シタノデゴザイマシテ、如何ニ之ヲ行政廳ガ成功ノ程度ヲ取扱フカト云フ標準ヲ、勅令ヲ以テ定メタノデアリマスカラ、ソレデ成功ト云フコトニ對シテ、附與ト云フコトニマデ掛ケテ御議論下サルマデニハ及バヌカト存ジマスケレドモ、併ナガラ御解釋ノ如ク貸付ノ結果トシテ、附與スルモノデアルカラト云フコトデゴザイマスレバ、左様御解釋下サツテモ當局ニ於キマシテ成功サヘスレバ、之ヲ附與スルモノデアルカラ、ソレデ差支ナイモノト認メテ居ルカラシテ唯今ノ御議論ノ如ク御解釋下サツテモ差支ナイ

○中西六三郎君 成功ト云ヘバ六分ノモノデト成功ト認メル

○政府委員(河島醇君) 六分ヲ分テ成功トハ致シマセヌ、六分ヲ年限内ニヤツタモノハ、後トノ四分ハ其年ヲ超エズニ成功スルモノト認メルノデアリマス、年限ノ制限ニ於テハ、六分通りスレバ、其後ハ必ず成功スルモノト認メテ確定スルノデアリマス

○中西六三郎君 私ハ成功ト云フノ文字ハ必ず一寸一分マデノ土地ノ成功ヲ意味セズ、適當ナル度合ヲ以テ成功ト見ル、斯ウ云フ意味合カラ勅令ニ於テ其程度ヲ見タ、斯ウ云フ意味デ黒金君ノ説明ヲ當局者ノ解釋ト認メマスカラ、異議ハゴザイマセヌ

○委員長(宮古啓三郎君) 勅令案ヲ見ルト、事業ガ六分以上ノ成功スレバ之ヲ付與スル、サウスルトマダ四分通り殘リテ居ル際ニ付與スルト云フコトニナル、ソレデ原案ノ方デハ成功ノ後之ヲ付與スト斯ウナツテ居ルノデアリマス、ヤハリ六分通り成功スレバ、最早全部成功シテ趣意ニ見ナイト、此法律ノ解釋ガウツカシクナイカト思ヒマス

○政府委員(黒金泰義君) サウス云フ御解釋デモ宜シイ

○委員長(宮古啓三郎君) 是ハ地積ノ制限並ニ賣拂及貸付ノ方法ハ勅令ヲ以テ定ムルト云フノデ、此所謂勅令ノ案ガ諸君ノ手許ニ參ッテ居リマスガ、勅令案ニ關シテ

御問ガアルナレバ、成ルベク簡單ニ此際御述ベニナツタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマス
○齋藤宇一郎君 草案ノ方デアリマスガ、第三條ノ第三項ハ植樹ニ供スル土地、此植樹ト云フ文字ノ解釋ニ付テ其意義ヲ明カニシテ置キタイノデスガ、是ハ人工造林ノミヲ指スノデスカ、或ハ天然更新ヲモ含シテ居ル廣義ノ意味デアリマス

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ今日マデ隨分問題ガアルノデスガ、最早御案内ノ如ク豫算ニ於テ北海道ニ於テ人工造林ナリ、天然更新ヲ以テ立派ニ造林スルト云フ技術上ノ問題ガ決定スレバ、方法サヘ確實ナラバ、天然更新デモ良カラウト思フノデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 先刻質問モアリマシタガ、隨時點檢ト云フト、一年ニ何遍ニナルカ分ラナイ、又何年目ニ一遍ヤルカ分ラナイ、事業家ハ誠ニ苦心シナケレバナラヌコトニナリマスカラ、一年ナリ二年ナリノ中ニ點檢スルコトニナレバ、其期間内ニソレダケノコトヲヤツテ宜イコトニナツテ、事業家ハ便利デアルト考ヘマスガ、檢査ノ時機ヲ勅令ニ示ス譯ニ往キマセヌカ

○政府委員(黒金泰義君) 現行法モ隨時點檢トアリマスガ、内規トシテ一年一回トシノリマス、之ヲ法律若クハ勅令トシテ二年間ハ必ず點檢シナイト云フコトヲ示スト弊害ヲ生ジマスカラ、法律勅令デハ隨時點檢トシテ置イテ、之ヲ廳令ニ讓ツタ方ガ宜カラウト存ジマス

○中西六三郎君 場所又ハ場合ニ依ツテ、必ず何處デモ一樣ニ二年ニ一遍、二年ニ一遍ト云フコトヲ規定スルノハ迂鈍ナルコトヲ見出スノデスガ、私ハ之ヲ斯ウ云フ意味ニ見テ同意シタイト思フ、一年ニドレダケノ仕事ガシテナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルト、隨時ノ點檢ガ危險ニナル、起業方法ニ二年ニ何町歩、四年ニ何町歩トナツテ居レバ、起業家ハ危惧スルトコロハナイ、故ニ此點檢ハ重キヲ措カナイデ、寧ろ事業ノ餘地ヲ廣クスル上ニ於テ、成ルベク範圍ヲ寬大ニシテ置イタ方ガ良カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、ソレハ既ニ前回ニ於テモ兩三回御尋ネシテ、當局者ノ意思ハ吾々ノ考ト差異ガナイヤウニ思ッテ居リマス、必竟事業ノ成功程度ヲ餘リ小刻ミナサラナイモノト信ジテ宜シウゴザイマス

○政府委員(黒金泰義君) 御説ノ通り是ハユトリヲ附ケル積リデアリマス

○平島松尾君 念ノタメニ伺ヒマスガ、貴族院モ此法案ハ勅令草案ヲ認メテ贊成シタルノデ、言ハバ條件付ノ贊成デアル、ソレデ本案ノ贊否ハ此施行規則ノ如何ニ依ツテ定マルモノト云ツテモ宜シイノデスガ、字句ノ修正ハ格別トシテ、此骨子ト成ルベキ三條、五條、六條ハ確定ノモノデ變更ノ出來ナイモノト見テ宜シイト考ヘマスガ、如何デスカ

○政府委員(黒金泰義君) 御尋ノ如何ハ、第三條ノ地積制限、第五條ノ土地ノ賣拂價額、第六條ノ可用立木ノ賣拂ノ方法ニ付テハ、貴族院ノ希望ヲ容レタ條文デアリマス

○平島松尾君 然ラバ確定ト見テ宜シイノデスカ

○政府委員(河島醇君) 畢竟當局者ノ腹案ニ過ギナイ、貴族院ニ於テ條件ヲ附ケラレタル條項ノミニ對シ、政府ハ之ニ應ジマシタルデアリマス、故ニ其骨子ハ變ラヌノデアリマス

○淺羽靖君 此成功ト云フコトニ付テ、役人ノ検査スルトコロヲ見ルト、千差万狀デアル、是ハ成功デアル、是ハ成功デナイト云フ争ハ到ル所苦情ガアル、所デ道民ノ困難ハ争フテ役人ガ聞カナイトキハ費用ヲ掛ケテ道廳ニ來ナケレバナラヌガ、其費用モナケレバ又事實一家ノ經濟上カラヤレナイノデ、屈辱シテシマフ、是ハ餘程ムツカシイ實際ノ上ノ問題アリマスガ、此場合ニ於テ一應何デ置キタイノハ、成功ト云フノハドウ云フ程度ヲ當局者ガ成功ト認メテ居ルカ、長官ナリ部長ナリガ一々御廻リニナツテ、解釋ナサレバ宜イガ、何百ト云フ小役人ガ往テ、治メヤウトスレバ、此成功不成功ニ付テ苦情百出スルヲ免レナイ、仍テ是ハ何トカ一定ノ解釋ガ出來マセヌカ、今回規則モ變ヘル時機アリマスカラ伺テ置キタイ、代々ノ長官ノ時代ニ人民ガ痛苦シテ居ルトコロデアリマスカラ……

○政府委員(黒金泰義君) 成功検査ノ取扱振ニ付テ御尋デスカ、必竟成功検査ヲ致シマスル根本ノ趣旨ハ、土地ノ貸付賣拂ヲ受ケタル者ノ起業ヲ確實ナラシムル方法ニ過ギナイデアリマス、其精神ヲ以テ検査スルデアリマスカラ、必ズ之ヲ苛酷ニ取扱フシテ人民ニ迷惑ヲ掛ケルト云フコトガ規定ノ精神ニシテ取扱フ致シテ居リマセヌノミナラズ、將來ニ向ヒマシテモ、此成功検査ヲ設ケマシタ精神ヲドモ事業家ニ對シマシテモ能ク理解サセルヤウニシテ、此事ニ從事サセル決心デアリマス、中ニハ随分己レノ利益ヲ棚ニ上ケテ惡ルイコトヲ云フ者モアリマスシ、又多數ノモノデゴザイマスカラ、或ハ役人ノ手ニモ苛酷ヲ取扱フシナイトモ限リマセヌガ、將來益ミサウ云フ弊害ノナイヤウニ力ヲ盡ス積リデアリマス

○中西六三郎君 勅令ノ草案ニ對シテ質問シテ置キタイ、此十一條ノ行政廳ノ認可ヲ受クベシト云フコトハ、先日モ一應御尋シマシタガ、此場合更ニ入念シテ置キマス、此事ハ本員ハ明白ニ本法ト抵触シテ居ルト認メマス、本法ニ據リマスレバ賣拂ヒタル土地ハ自由ニ處分ヲ許シテ居ルノヲ勅令テ行政廳ノ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フハ、勅令ノタメ拘束セラル、コトニナリマスカラ、是ハ發布ノトキハ削除ヲ願ヒタイ、若シ削除ガ出來ヌト云フコトデアリマスレバ、此場合ヨク討究シテ置キタイ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ御希望ガアリマスガ、勿論腹案デアリマスカラ……

○委員長(宮古啓三郎君) 改メテ積リデアリマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 勅令シテ現ハレマスストコロマデハ申上ゲニクイデアリマスガ、併シ是ハ腹案ノコトデアリマスカラ何トカ……

○政府委員(河島醇君) 御尤モデアリマスカラ、是ハ届出サセテ臺帳ヲ出サセマスカラ、ソレダケノコトハシテ宜イト思ヒマス

○平島松尾君 淺羽君カラ検査ノコトニ付テ質問ガアリマシタガ、ソレデ此勅令ニ斯ウ云フコトガ出來ナイダラウカト思ヒマスガ、若シ検査ヲ受ケテ不當ト認メタモノハソレヲ道廳ニ訴ヘテ再審ヲ請フ途ヲ開イテ置イタルドウカト云フコトヲ考ヘテ居ルデアリマスガ、隨分此弊ハ受ケルモノ、方ニモ宜シクナイト云フコトガ無論アルガ、検査スル方ニ付テモ今迄ノ弊害ハ見聞シテ居ル、ソレデセメテ上訴ノ途ヲ開イテ、若シ不當ナコトガアレバ高等官ノ何カ會議ト云フヤウナモノニテモ訴ヘテ審判スルヤウナ途ヲ開イタナラバ、餘程其弊ヲ防ギ得ラル、デアラウト考ヘマスガ

○中西六三郎君 ソレハ二十四條ニアリマス

○藤澤幾之輔君 今ノ検査ノコトデスカ、是ハ執行ノ問題デ、法文ノ問題デアリマセヌカラ、一体私ハ默シテ居ルノデスカ、私ハ常ニ検査官ヲ極ク嫌ヒナノデ、ドノ事柄ヲ問ハズ非常ニ弊害ガアルモノデ、相手ニナル者ハ常ニ迷惑シテ居ル、ソレデ北海道検査官ナドハ思ヒヤラレル、詰リ是ハ頭次第此弊害ハ隨分直スコトガ出來ル、ソレデ私ハ將來ノ望ヲ持ツテ居ルカラ默シテ居デスカ、序ニ御注意シテ置キタイ、検査官ハ斯ウ云フ種類ノ事柄ニ限ラズ、検査官ニハ隨分イロ／＼ノ弊害アルコトハ事實ノ上ニ於テハ承知シ切ツテ居ル、ソレデドウカ將來北海道ノ検査ノコトニ付テハ特ニ長官其他ノ御注意ガアツテ、必シモ請願ニ據ラズ、必シモ行政裁判所ノ方法ヲ執リヌデモ検査ヲ受ケテ不服アルモノハ役人ガ往テ無理デアルトカ實地ト違フト云フヤウナコトハ、必シモ耳ニ這ラヌコトモアリマスマイ、耳ニ這入ツタナラバ進ンデ精細ナル取調ヲシテ、不都合ノコトガアツタナラバパドシ／＼ヤツテ貰ヒタイ、頭ノ方カ變ツテ來ルト一齊ニ濟ハレデアラウト思ヒマス、是ハ北海道ノコトダケニ付テ云フノデナイ、常ニ此検査ニ付テ不都合ヲ感ツテ居ルカラ、一般ニ付テ云フデアリマス

○政府委員(河島醇君) 精々注意致シマス

○委員長(宮古啓三郎君) 餘リ杓子定規ニ検査スルト云フコトデナイトノデスカ、又杓子定規デナク、何カヒドイコトノ違ッタコトノアルトキニ取上ゲルト云フコトニ成ツテ居リマスガ、ドウ云フ標準御採リニナリマスガ

○政府委員(河島醇君) チョット申上ゲマスガ、此事ハ配付ヲ受ケルトキノ設計書ニ依ッテソレヲ以テ検査官ガヤル、所ガ例ハ淺羽代議士ト云フヤウナ有力者ノ處ヘ往ツタトキハ甘イ、ソレ等ガ其弊害ノアルノデ、ソレカラ又御馳走モ食ツタコトモアリマセウ、ソレモアルノデス、實ニ困ルノデス、精々今後ハ正確ニヤル積リデアリマス、サウカト云ツテ嚴シクヤルノデナイ、何レニ對シテモ正シクヤルノデ人ニ依ッテ手心ヲヤラヌヤウニスル積リデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 私ハ杓子定規ニスルトイケナイト思フノデスカ、併シ仕事ヲシテ本當ノ仕事ヲシテ居ルモノナレバ事業方法ニ違ッテモソレダケガタメ取上ゲナイト云フ方法ニスルガ宜カラウト思フガ、サウ云フ風ニヤツテ居ルカドウカト云フコトヲ聽クノデス

○政府委員(黒金泰義君) 實際ノ取扱ハ長官カラ申上ゲタ通り隨分多イ中ニハ非難ヲ受ケルヤウナコトモアツタラト思ヒマス、併シ私共ノ所ヘ參リマスストニ付テ、一々調査シテ見マスルト、先ヅ其功程ガ幾ト二分ノ一二モ達セヌヤウナモノデナケレバ先ヅ返還ノ命令ハ出デ參リマセヌ、ソレデ凡ソ半分位致シマシテ、サウシテソレニ對スル苦情デモゴザイマスレバ、延期ノ方法デモ致サセマスガ、又ハ極ク低度ニシテ僅カノ缺點トカ云フモノデゴザイマスレバ、是ハ大目ニ見マシテ、サウシテ本年中ニ成功スルトカ、又來年ニ成功スルトカ云フヤウナ、立會人トカ検査員ノ間ニ付テ話ヲシタト云フコトモゴザイマスシ、必シモ本年十坪來年二十坪デ又來年ハ五坪シカナカッタト云フタメニ酷ナコトハシナイノデアリマス、併シ多イ中デハ隨分酷ナコトモアツタデアリマセウシ、又甚シイハ此苦情ヲ訴ヘルガタメニアアルコトナイコトヲ材料トシテ申スモノモアルカラ、ソレモ一時ニ向フノ側ノ言フコトヲ御聽取リニナラヌヤウニ願ヒマス、ソレデアリマスカラシテ、現ニ成功検査ニ付

テハ、起業者ノ果シテ起業ヲ爲シ得ルヤ否ヤニ、先ヅ第一ニ重キヲ置カケレバナラヌ、政府ハサウ云フヲウニ認メテ居リマスカラ、十分ニ此事ニ付テハ注意ヲ致サセテ居リマスケレドモ、マダ成績ガ擧ガラヌカモ知レマセヌガ、將來ハ能クヤリマス積リデアリマス

○淺羽靖君 此拓殖ノコトハ重要ナコトデアリマシテ、一ヶ年成ルベク中等以下ニ付テ視察ヲシテ見ルニ、唯今藤澤先生ノ言ハレタ事實ヲ認メル、ソレハドウ云フ譯カト云フト、物價ノ高イ交通不便ナ原野ノ多イ國デ、僅カニ判任資格ト云フ名義ノ下ノ役人ガアッテ、事業手ト云フモノガアルハ前長官ノ時代デアリマスガ、其事業手ナルモノガ、是ハ土木ノ助手見タヤウナモノデアアル、是ガ生命ヨリモ或場合ニハ重イ財産ノ検査ヲ爲スノデ、其中ニハソレデ黒金委員ノ御説明ノ如ク、随分人民ニモ惡ルイ者モアルケレドモ、惡ルイ人間ハナカク切抜ケテ上手デアッテ、却テ純良ナ規則モ何モ知ラナイ正直ナ者ガ、僅ノ箇條ニ小言ヲ附ケラレテ其事業手ニ攻メラレル、遂ニハ最早仕方ガ無いノデ、御馳走政略ヲヤル、賄賂ヲヤル、ソレデモ尙イカヌハドウ云フ譯カト云フト、其事業手先生ガ外ノ出願者ト連絡ヲ取テ居ル、今度取上ケレバ直グニ報告スルトカ言フノデ、長官ハ官判ヲ押シテ居ルノデアアル、ソレデアアルカラ、不貞ノ者カラ願出シテ正直ナ者ハ困ル、惡ルイヤツハ切抜ケテ居ルト云フ有様デアアル、今長官ハ有力ナモノハヤラヌト云フ話デアアルガ、吾々ハ賄賂ヲ出サヌカラナカク嚴重デヒドイ、ソレカラモウ一ツハ支廳長ノ中ニハ長官ノ信認ヲ得テ居ル者ハ、長官ガ幾ラ嚴重ニヤレト云フデモ先ヅ出來テナカッタラ一箇月猶豫スル、十五日猶豫スル、六十日猶豫スル、今度ノトキニ是ハ致シテ置ケト云フヤウナコトニ腹ガ据テ居ル、ソレカラ長官ニ未ダ信任ヲ得ナイ支廳長ハヒクシテ嚴重ニヤリ、法律勵行ト云フヤウナ長官ニ號令ヲ下サレタ結果デ、ソレヲ過信シテシマッテ酷ニナリ、随分寸毫モ許サヌト云フヤウナコトニナッテ來ル、ソレ故ニ私ハ長官ニ終始實際ヲ見テ歩ルイテ御覽下サイ、部長ヲ御出シ下サイト云フノデアアル、正直者ハ皆倒レ、ズルイヤツハドウニカ切抜ケテ往ク、是ガ北海道ノ一大弊源デアアル、ソレ故ニ事業手ト云フ者ガ、百人モ二百人モ居ルノハ、原野ニ虎ヲ放ッテ居ルヤウナモノデアアル、是ハドウシテモ始末ヲツケテ貫テ、判任デモ先ヅ四、五十圓カラ以上ノ者デ、餘程常識ノアル色ヲノ状態ニ通シ法律ニ通シ人デナケレバ、此弊ノ防ギハ付カナイデアリマス、是ハ幾ラ規則ガ變テモ其一點ニ付テ長官ガ苦心ヲ御覽ラシ下サヌトキニハ、法律ハ一向用ヲナサヌデアリマス、是ハ此状態ヲ今御説明ガ出タカラ、私カラ參考ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス、決シテ長官ヲイデメル積リデアルトカ、又ハ其非ヲ發ク積リデアナイノデナク、ズット以前カラノコトデアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) ソレデハ次ニ移リマス、第七條、八條、九條

○駒林廣運君 先刻ノ御説明デ素地ノ儘使用スルモノハ、即チ是ノ取除ケニナッテ居ルト云フコトハ分リマシタガ、ソレデケデハ尙盡キナイト云フノハ、考ヘテ見ルト、此賣拂ト云フモノニ付テハ、一時ノ賣拂ト永代ノ賣拂トノ二種アル、サウシテ第一ハ地積開墾ノ目的ノ一ツノ賣拂デアッテ、是ハ條件ヲ付ケル、然ルニ永代ノ賣拂ハ即チ權利ヲ總テノ賣拂ヲ受ケテ往クモノニ移ッテシマッテ、後來ハ何ノ關係モナイト左様ニ承知シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(黒金泰義君) 此八條ノ事業ノ成功期間ノアルモノニ對シテハ、期間ノ

最延長ヲ定メタノデアッテ、是ハ賣拂フ中ノ條件デハ無いノデアリマス

○駒林廣運君 ソレハ分ッテ居リマスガ、賣拂ト云フモノニハ二種類アル、一ツハ一時賣拂デ是ハ條件付テ總テノ檢束ヲ受ケルモノデアアル、一ツノ賣拂ハ元ト永代ノモノデアッテ、何ノ義務モ負ハナケレバ、何ノ檢束モ受ケナイノデアアルト云フ、斯ウ二種アルト解釋シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(黒金泰義君) サウデハ無いノデアリマス、第二條ノ賣拂ニ對シマシテハ詰リ極ク些細ナトコロノ土地ヲ申スノデアリマシテ、第十四條ノ適用ノ起ラヌノデ、成功シナケレバ返還ヲ命ズルト云フコトガ出テ來ナイト云フコトニ過ギナイノデアッテ、賣拂ノ性質ハ始メカラ同ジコトデアリマスケレドモ、其他ノ賣拂ニ對シマシテハ第十四條ノコトガ起ッテ來ル、ケレドモ第二條ノ賣拂ニハサウ云フコトガ起ラヌト云コトニナッテ來ノデアリマス

○駒林廣運君 サウスルト素地ノ儘ニ使用スルト云フモノニ對シテハ、何ノ檢束モ無いト云フト、賣拂ヲ受ケテシマヘバ、モウ自分ノ物トシテドンナコトデモ出來ル、斯ウ云フ趣意ダラウト思フガサウ承知シテ宜シウゴザイマスガ、十四條ノ規定モ是ニハ當符メル必要ハ無し、八條モ無論開墾ノコトニ屬シタコトデ、其他ノコトハ屬シナイノデアッテ、一ツハ開墾ノ目的ニシテ賣拂ヲ受ケタモノデケハ檢束ヲ受ケ、詰リ取上ケラレルコトモアルト云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(黒金泰義君) 其通りデアリマス

○淺羽靖君 此八條二十年ヲ超ユルヲ得ズト云フコトガゴザイマスガ、地租條例ニハ荒地原野等ヲ開墾スルニハ二十五年以内ニナッテ居タヤウニ思ヒマスガ、此案ハ十箇年トシタハ、是ハ開拓使以來ノ習慣法ヲ襲フテ來タノデアッテ、事實内地ノ府縣デスラ二十五年以内ノ酌量スルコトニナッテ居ルノニ、北海道ハ沃野千里ト云フノハ嘘ノ皮デ、好イ所ハ誠ニ少ナイノデゴザイマス、又第十條ニ泥炭地二十年トシテアル、然ルニ泥炭地ヨリマダ困難ナル火山灰ノ處モアルヤウナ譯デアリマスカラ、是ハドウシテモ地租條例ニアッタ如ク記憶シテ居リマスガ、二十五年ノ範圍内ニテ行政長官ニ於テ之ヲ延ベルヤウナ譯ニ行カナイノデスカ、ドウモ實際ニ適シナイカト思フノデアリマス

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ事實ノ話デゴザイマスレバ、在來ヤッテ參リマシタノデ、別ニ之ニ依ッテ不都合ハナイト認メテ居リマス、又地租條例ニ對シテノ御比較デゴザイマスガ、地租條例ハタシカ場所ニ依ッテハ五年カラ施行期間ヲ置イデアッタト思ヒマスガ、其土地ニ依ッテ違ッテ居ッタト思ヒマス、ソレデゴザイマスカラ必ズアレト比較スル必要モナイト思ヒマスカラ、別シテ彼ノ法ニ依リマスルト内地ニ於テハ土地ノ整理ハ出來マシタガ、北海道ハ今日ハ開クベキ未開地デゴザイマスカラ、ソレト同一ニ論ズルコトハ出來ナイト思ヒマス、アレト比較セラル、ト云フコトハ少シク酷デハナイカト思ヒマス

○淺羽靖君 十年ナラ十分ダト云フ意味デスカ

○政府委員(黒金泰義君) 從來ノ經驗デハ差支ナイ積リデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 第九條十條十一條……

○齋藤宇一郎君 一豫定期間ノ半ヲ超ユルコトヲ得ス」トアリマスガ、超エナケレバナラヌ場所ガアッタ時分ニハドウスルノデアリマスカ、天災ノ二度モ重ッテ來ルト豫定期間ヲ十

年トスレバ五年位ノコトハ直グ經過スルダラウト思フ、サウ云フトキニ直チニ返還若クハ取上ゲラレルコトニナル意味デスカ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ左様デゴザイマス、ドウシテモ豫定期間ノ半分以上ハ超ルコトヲ許サズ積リテアリマス

○齋藤宇一郎君 サウスルト取上ゲラレルノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) サウスルト

○淺羽靖君 此植樹泥炭地トゴザイマスルガ、詰リ開墾ニ困難デアルカラ此箇條ガ出來タト思フデス、サウスレバ泥炭地内ニ今ノ火山灰ノヤウナ所モアル、又其他ニモ困難ナ天然ノ地質ノ土地モアルノデアリマスガ、ソレ等ニ付テハ此二十年ト云フ長期ヲ許サナイノデセウカ

○政府委員(黒金泰義君) 成程火山灰地ニ付テハ北海道ニモ大ナル關係ガゴザイマスカラ、是ハ今日マデノコロノ植樹其他ノコトニ付テ別ニ法律ノ上ニ於テ規定ヲ設ケル必要ヲ認メマセヌ

○委員長(宮古啓三郎君) 第十二條

○駒林廣運君 是ハ唯文章ノコトデアリマスガ、「土地ノ貸付ヲ受ケタルモノノ權利ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス」トアツテ得ナイト極メテ置イテ、次ノ第二項ニ至ツテ「貸付處分ヲ取消スコトヲ得」ト許可法ニナツテ居ル、又第十四條ニ依ツテ錢ヲ取ツタモノデアラカラ、豫定ノ事業方法ニ背イタキハ取消スベシト命令法ニナツテ居ル、是等ノコトハ貸付ケルモノデアラカラ讓渡スコトハナラヌト禁ジテ居ツテ、處分ヲ取消スベシトアル、此方ハ許可法ニナツテ居ルカラ取消サヌコトモ出來ルデアリマセウカ

○政府委員(黒金泰義君) 別ニ重大ナ意味ヲ持タシメテハアリマセヌ、第十二條ノ一項ニ於テ總テ之ヲ取消スト云フコトニナルト、或ハ本文ニ背イテ居リマスケレドモ、又苛酷ナ處分ニモ立入ラヌトモ限ラカイヤカラ、特ニ取消スコトヲ得ト云フコトヲ極メマシタ、十四條ノ方ニナリマスルト、是ハ未開地處分法ノ骨髓デゴザイマスカラ、此ノ如キ明文ヲ設ケタノデゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) 第十二條

○中西六三郎君 十二條ハ貴族院ニ於テモ質問ガ出テ居リマスガ、文字ノ書方ガ宜クナイ、「賣拂又ハ貸付ヲ受ケタル者ノ權利ヲ取得シタル者ハ本法ニ依リ前者ノ權利義務ヲ承繼ス」ト斯ウ書イテアリマスガ、此本法ニ依リ「トナツテ居リマスガ……」

○委員長(宮古啓三郎君) 是ハ「依リ」ト訂正ニナツテ居リマス——私ハ此處デ伺ツテ置キタイノデスガ、今度ノ改正ノ理由ノ意見ニ活用ト云フヤウナコトガアリマスガ、即チ此處ノコトヲ重ニ指シタモノデアラダラウト思ヒマスガ、此賣拂ヲ受ケタコロノ土地ヲ他ニ賣ツタリ、或ハ抵當ニシタリ質入ニシタリスルト云フコトハ、總テ差支ガナイト云フコトデ、此案ハ編出シタモノト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(黒金泰義君) 左様デゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) 尙續イテ御尋致シマスガ、ソコデ賣拂ヲ受ケタコロノ人ハ詰リ權利義務ヲ承繼シテ、ヤハリ開墾牧畜植樹等ニ從事スルト云フ譯ニナツテ居リマスガ、抵當ニ取ツタカ若クバ質入ニシタカ云フ場合ニハ、支出ハ元ノ賣拂ヲ受ケタ人

ガヤツテ、サウシテ金ヲ出シタ人ガ質入書入ニ取ツテ居ルト云フコトデアル、然ルトコロ賣拂ヲ受ケタコロノ人ハ、豫期ノ通りニ成功ヲ見ナカッタトキニハ、ヤハリ取上ゲラレシマフ、即チ賣買ノ處分ハ取消サレシマフ、斯ウ云フ譯ニナルカラ、甚ダ抵當若クバ質入等デ金ヲ出シタ人ハ損害ヲ受ケルト云フヤウナ形ニナリマスガ、ヤハリサウ云フコトハ已ムヲ得ヌト云フコトデアラカヤ

○政府委員(黒金泰義君) 左様デゴザイマス、御説ノ如ク十三條ニ於テハ賣拂トゴザイマスレバ、收益金ニ伴フコロノ賣買讓與或ハ質金ノ設定ハ自由ニ致シマスケレドモ、第二十二條ニ依リテ若シ取拂ノ處分ノ取消ガアツタトキニハ、總テノ權利ガ消滅スルコトニ認メテ居リマス

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト第二條ノ改正ノ理由ガ誠ニ薄弱ノヤウニ認メマスガ、唯單純ニ賣買ノ分ダケハ後トマデ確定ノ權利ヲ取得シタニ間違ガナイコトニナル、自分が事業ニ成功シナケレバ格別、成功ヲスレバ單ニ地所ヲ確定ノ取得スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナル、其點ニ於テノ理由ハアルヤウニ思ヒマスガ、抵當トカ條件ノ設定トカ云フヤウナ時ニハ、誠ニ不確實デ餘リ大シタ理由ニモナラヌヤウデアリマスガ如何デス

○政府委員(黒金泰義君) 其點ハ御尤デスガ、併ナガラ今日ヨリ一步進シテ便利デアラウト思ヒマスノハ、今日デハ誠ニ大部ノ地積デアリマスカラ、原則トシテハドウシテモサウ云フコトハ出來ナイノデアル、併ナガラ賣拂ツタ土地デアリマスレバ、所有權ハ無効ニナリマスノデ、詰リ其事ノ成功スルヤ否ヤト云フコトハ、其人ノ信用如何ニ屬スルコトデゴザイマスカラ、其信用サヘ宜ケレバ詰リ此獲得ガ出來ルト云フコトニナル、要スルニ結局ハ信用ト云フコトニ歸スルカモ知レマセヌケレドモ、貸附地デアラカドウデアラカト云フコトニ付イテ、獲得ノ範圍ハ廣イデアラウト思ヒマス

○中西六三郎君 唯今委員長ノ御尋ニナリマシタコト、同件ノ間デアリマスガ、此開墾中ノ土地ヲ抵當ニ取ツテ置イタノニ、其抵當物が全ク消滅シテシマフヤウナコトガアレバ、抵當權者ハ如何ニモ危險ナ觀念ガアル、併ナガラ又半面カラ考ヘルト、開墾中ノ土地ヲ抵當ニ取ルト云フヤウナ場合ハ、幾分か事業ハ進行シテ居ラナケレバナラヌノデ、始メカラ何モマダ着手ガカヌ中ニ抵當ニナルヤウナ機會ハ比較的少イト思フ、サウスルト結局抵當地ガ取上ゲラレ、場合ハ、先ヅ抵當地ノ幾部タルモノト見テ宜シイ、ソレ故ニ半面ノ危險ハ幾ラ緩和サレル觀念ハアリマスガ、本員ハ若シサウ云フヤウナコトデア取上ゲタヤウナ場合ニ、抵當權者ガ希望ガアレバ絕對ニトモ申サレマセヌケレドモ、大概ハ其抵當權者ハ再び希望ガアレバ賣ツデヤル、斯ウ云フコトハ當局者ノ注意トシテ行ハレ居ルコト、思フデアリマス、其希望ハ餘リ絶望ニ終ラヌヤウナコトナラバ、強イテ此箇條ヲ修正スル程ノ重大ナルコトモアルマイカト思フノデアリマスカラ、一應其點ヲ承デ置キタイ

○政府委員(黒金泰義君) 如何ニモ御尤モデゴザイマス、ソレデ第二十二條ノ處ニ於テ、其疑問ガ起リマシタコトデゴザイマスガ、一旦抵當權ヲ設定シ、又ハ質權ヲ設定シタ者ガ、起業者ノ不都合ノタメニ總テ其利益ヲ失フコトハ、甚ダ改正法ノ精神ニモ背クタメニ、何トカ之ヲ保護スルノ途ヲ設ケタラドウカト云フコトモ考ヘマシタノデアリマスケレドモ、若モ之ヲ法文ナリ或ハ勅令文ノ中ニ於テ抵當權設定者ニ先取特權ヲヤル、

優先權ヲヤルト云フコトヲ明カニスルト、却テ其餘文ヲ潜シテカラニ此成功ヲ豫期シナイデ、其方ニ豫メ抵當權ヲ設定シタル如ク拵ヘタリ何カスルヤウナコトガアルト、又弊害が生ズルト云フコトニナリマスカラ、ソレデ此點ハ行政上ノ手心トシテ十分働キノ出來ルコト、存シマシタメニ、條文カラハ一切省クコトニ致シマシタ、併ナガラ唯今ノ御説ノ如ク一旦其土地ノ目的トシマシテ、抵當權ナリ質權ナリヲ設定シタモノデゴザイマスレバ、他ニ先デ行政上ノ手心ヲスルト云フコトハ決シテ不公平ナル取扱デモアルマイト存シテ居ルトコトデゴザイマスカラ、其位ノコトハ行政官トシテソレヲヤツテ宜イコト、信ズル

○委員長(宮古啓三郎君) 第十四條如何デス、第十五條、第十六條、第十七條、第十八條、第十九條、第二十條、第二十一條

○武満義雄君 此二十一條ノ解釋ヲシテ貫ヒタイノデゴザイマスガ、是ハドウ云フ場合ヲ指スノデアルカ「拓殖上又ハ土地整理上必要アル場合ニ於テハ既ニ開墾セラレタル部分ヲ含ム土地ト雖本法ニ依リ處分スルコトヲ得」ト云フコトニ付テ事例ヲ示サレテ、斯ウ云フ場合ニハ本法第何條ニ依リテ斯様ニ處置シタ方ガ得策デアラウト云フコトヲ、事實ノ上ニ於テ——簡單デ宜シウゴザイマス

○政府委員(黒金泰義君) 本條ノ拓殖上必要アル場合ト申シマスノハ、御案内ノ如ク是ハ未開地處分法デゴザイマスカラ、既ニ開墾サレタ部分ハモウ官有地ニナツテ居リマスカラ、此法律ノ支配ハ受ケタコトニナリマス、併ナガラ若モ僅ノモノガ開墾セラレテアルカラト云ツテ、之ヲ官有地處分規則ニ依ラナケレバナラヌト云フコトニナリマス、例ヘバ、百萬坪ノ——八百町歩ノ牧場地ヲ出願スル者ガアツテ、其中ニ僅ノモノガアツテ、是ガ官有地ト云フコトニナツテハ甚ダ困ル、ソレカラ土地整理上モ同ジコトデゴザイマス

○平島松尾君 十九條ニ戻リマスガ、未開地法ニ依ルト事業成功シタ翌年カラ地租モ地方税モ二年ノ間ハ課サヌトナツテ居リマスガ、所ガ是ニハ地租ノミアリマスガ、地方税ノ方ハドウ云フコトニナリマス

○政府委員(黒金泰義君) 地方税ハモウ既ニ地方費法ノ改正ニ依ツテ、前規則ニ於テモ是ハ當然課スルコトニナツテ居リマス

○齋藤宇一郎君 私モ武満君ト同ジ疑ガアツテ質問シヤウト思ヒマシタガ、今ノ政府ノ委員ノ答辯ヲ伺ジテ見ルト、開墾シタトキハ官有地ニナルト云フヤウニ聽キマシタガ、此開墾ト云フノハ既ニ此規則ニ據ツテ個人ガ開墾シタ部分ヲ含ムト云フヤウニ讀マレマスガ、サウスルト折角開墾シタ處デモ何カ御都合ガアレバズン、本法ニ依ツテ處分スル、則チ本法ニ據ツテ土地ヲ公用ノタメニ引揚ケルト云フヤウナ、即チ第十六條ニ據ツテ處分サレルコトモアルノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ十四條ニ於キマシテ返還ヲ命ジマシタ場合、賣拂又ハ貸付地ヲ返還ヲ命ジマシタ場合ニ於テ、前文ニ依リマス全部ヲ取消シテ、サウシテ拓殖上若クハ土地整理上ニ支障ナキ限リノ成功地ヲ改メテ付與スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデカラ成功地ノ幾分ト云フモノハ、必ず返還地ノ中ニ殘ルト云フコトニナツテ居リマス、ダカラ其開墾シタ土地ガ官有地デアルト云フコトニナリマス、未開地トシテノ處分ハ出來ヌコト、ナリマス

○齋藤宇一郎君 此十四條ノ場合ヲ指シタノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 十四條ノ場合ヲ指シテ居リマス

○委員長(宮古啓三郎君) 此「本法ニ依リ處分スルコトヲ得」ト云フノハヤハリ賣拂若クハ特定地トスルトカ云フコトヲ云フノデスナ

○政府委員(黒金泰義君) サウデス

○委員長(宮古啓三郎君) 第二十二條、第二十三條、第二十四條、附則、附則ニハアリマセヌカ

○平島松尾君 他ニ質問ガ無サウデ前ニ戻リマスガ、此特定地ヲ置クト云フコトデスナ、是ハ何カ御標準ガアルノデセウカ、例ヘバ二十年間ト極メテモ宜シイ、或ハ一年間ト極メテモ宜シイ、大地積ヲ以テ貸スベキ部分ト、特定地トシテ小地主ニ貸スベキ部分、其地積ニ何カ凡ソノ標準デモ設ケテ、サウシテ年々ニ區別ヲスルト云フコトニナリマセウカ其邊ハドウ云フコトニナツテ居リマス

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ別ニ地積ノ上カラ此處ハ特定地ニシナクテハナラヌ、是ハ大農地デナクテハナラヌト云フ區別ハナイ積リデゴザイマス、併ナガラ特定地ヲスルニハ、一應區別ヲシナケレバナラヌ、區別スルト云フダケノ手數デゴザイマス、一戸分五町歩ヅツデスナ、五町歩ヅツノ割合ヲ以テ區別ヲスル、ソレデケガ特別デアル、地味ガ宜イカラ大農ニヤレヌトカ、小農ニヤレヌトカ云フ區別ハ無論ナイ

○平島松尾君 サウスルト詰リ當局者ノ手加減デ、當年度ハ例ヘバ百萬坪ヲ各別ニシテ小地主ニ割リ、百萬坪ハ大地主ノモノトシテ、其地積ノ標準ハ其年々デ當局者ノ手加減デアル、斯ウ心得テ宜シウゴザイマス

○政府委員(黒金泰義君) 其特定地トシテノ標準ハ多分御參考ニ差上ゲマシタ中ニアルダラウト思ヒマスガ、是マデ年々北海道へ團結移住ナリ、若クハ個人トシテ北海道へ移住シテ來マスストコロノ數ニ依ツテ、凡ソノ數ヲ認メテ居リマス、ソレデ其他ニ大地積デ自ラ小作ヲ連レテ來タモノハソレハ別デゴザイマスガ、北海道へ參リマシテ團結移住ナリ或ハ個人ノ夫婦共稼ゲ出テ來タ者ノ今日マデ處分シタ數ヲ本ニシテ其數ニ依ツテ凡ソ極メテゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) チョット此貴族院ノ修正ニナツタコロニ付テ御尋致シマス、此貴族院ノ修正ノ意味ニスルト、賣買處分ヲ取消シタ後ニ於テ既ニ成功ヲシテ居ル分ニ付テハ、賣拂ニ附スルソレハ代金ヲ返還サレナイ成功シナイ分デケヲ取上ゲ、即チ賣拂處分ヲ取消シテ其部分ニ對シテハ賣拂代金ヲ還付スル、斯ウ云フコトノ趣意ノヤウデスガ

○政府委員(黒金泰義君) サウデハアリマセヌ、其反對デアリマス、元ノ規則ハ豫定ノ事業方法ニ違反スレバ、賣拂ノ處分ヲ全部取消シテシマツテ、サウシテ改メテ開墾シタ所ノ——成功シタ所ノ土地ヲ附與スルコトニ立テマシタナレドモ、ソレデハ甚ダ書方ガ穩デナイト云フコトデ、成功シナイ所ノ部分ニ對シテノ賣拂處分ヲ取消ス、サウシテ取消シタトキニハ賣拂代金ヲ還付シナイ、斯ウ云フ意味ナノデス

○横田虎彦君 私ハ御尋デハアリマセヌガ、御相談ト云フヤウナ意味デ是ハドウデゴザイマス、詰リ裸體ノ土地デ木ハ別ナモノ——是ダケハ賣ルト云フコトハ全然止メルト云フヤウナコトハ往カヌモノデアラウカ、ソレカラ若シ之ヲ賣ルトシマシテモ賣ルト云フコトニ付

テ、當初ヨリ資格ヲ十分ニ調査ノ上デ賣渡ス、斯ウ云フコトデアリマスカラシテ、ソレ程マデニ慎重ニ調査ノ上デアレバ此事業ヲ必ズ遂行スルベクノモノデアルト云フコトニ付テ、認定ノ付タ上デ賣拂ニナル、既ニ賣ルト云フコトニナレバ寧ロ此値段段ノ今少シ高クシテ元ノ代價ト云フコトニ假リニナリマシテモ、後トノ條件ト云フコトハ、寧ロ賣ルト云フコトニナラバ、取テシマツタラドウデアラウカ、サウ云フ必要ハナカラウカ、又一體法ノ原則トシテ甚ダ可笑シモノデ、此案ニ依ルト賣拂フト云フコトハ、ホンノ名デアツテ、賣拂フト云フ名ヲ存シテ居ルケレドモ、其實ハ金ヲ取テ貸スト云フ位ナモノ、賣拂フト云フ權利ヲ其際ノ賣買ニ依テ取得スルト云フ理窟カラ以テ來ルト無意味ニナル、賣拂フスルナラバ寧ロ條件ト云フモノハ取テシマツテモ一向差支ナイ、買ウタ者ガ金ヲ出シテ買ウテ相當ノ見込ヲ立テ、居ル以上ハ、何モ責任ヲ負ハナクテモ一日モ早く相當ナ有利ナ者ニシヤウト云フノハ、何人ノ念慮ニモアルコト、寧ロ年限ナドヲ嚴重ニシテ取消ストカ何トカ云フコトニハシナクテモ、拓殖ノ目的ノ上ニ於テハ差支ナイヤウデアアル、賣ルトスルナラバ値段ヲモウ少シ高クトモ、後トノ條件ヲ取テシマウ、若シ條件ヲ付ケルナラバ、ヤハリ貸付ト云フ方法デアルトスルナラバ、僅カナモノダカラ賣ルト云フコトダケヲ止メテシマウ、斯ウ云フチヨット考ガ浮ビマシタガ、ソナコトデアハドウデゴザイマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 唯今ノ御話デゴザイマスガ、此法律ヲ改正シマシタ次第ト申シマスルノハ、詰リ今日ノ無償貸付ト云フコトノ弊害ヲ認メマシテ賣拂ニシタイト云フコトニ致シマシタノデ、ソレヲ止メテシマハヌカト云フ御相談ニナリマスルト、全ク此改正ノ必要ガナイデナイカト云フコトニ歸スルヤウデアリマスガ、是ハドウシテモ今日改正ノ必要ト致シマシテハ、是非此方法ニ改メナケレバナラヌト云フ必要ヲ何處マデモ認メテ居ルデゴザイマス、ソレカラ賣拂フナラバ賣放シテ宜シイデナイカト云フ御議論ノヤウデゴザイマスガ、元々賣拂ヲ致シマスル精神モ、北海道ノ拓殖ヲ——開墾牧畜ノ事柄ヲ確實ニシタイト云フコトガ目的デアゴザイマスガ、單ニ之ヲ賣拂フテ金ヲ取ルト云フ精神トハ自ラ區別ガアルノデゴザイマシテ、賣リマスルノハ弊害ヲ矯メル一ツノ方法ト致シマシテ、又條件ヲ付ケマスルノモ、事業ヲ確實ニシテ成功ヲセシメルト云フコトコロノ精神カラ起キマシタノデゴザイマスガ、此成功期間ノ條件ヲ取ルト云フコトニナリマス——賣放シト云フコトニナリマス、北海道ノ拓殖ハ寧ロ何時迄經テモ拓殖ノ成功ヲ期スルコトガ出來ナイト云フコトニナリハシナイカト思ヒマスノデ、賣拂ヲ致シマスルニ付キマシテモ、條件ト云フコトヲ極メルノハ最モ必要ト認メルトコロデアゴザイマスガ、是ハドウシテモ存置ヲ願ハナケレバナラヌコト、存ジマス

○横田虎彦君 貴族院ノ協議會ニ於テ、此代價ノ點ハ三圓ト云フコトガアツタヤウデゴザイマスガ、是ハドウデゴザイマスガ、御同意ハ出來ナカッタ譯デアゴザイマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 御話ノ如ク貴族院ノ協議會ノトキニサウ云フ御話モアリマシタノデゴザイマスケレドモ、併ナガラ三圓ト云フコトニナリマスルト、畢竟向フモ見込、コチラモ見込デアゴザイマスガ、餘リ廉過ギハセヌカト云フ見込ノ上カラ、詰リ四圓五十錢ト云フコトニ折合ガ付タデアリマス、ソレニ現ニ明治五年カラ十九年マデ實行シマシタ規則ニ依リマシテモ、此ノ如キ實例モゴザイマスコトデアゴザイマスガ、ソレニ引合セマシテモ四圓五十錢デ宜カラウト云フコトデ、斯様ニナリマシタデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 貴族院ノ修正ニハ政府ハ同意ニナツタデアリマスガ

○政府委員(河島醇君) 左様デアゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) 尙伺ヒマスガ、第十四條ノ貴族院ノ修正ノ第一項ノ方デハ「未成功地ノ全部ニ付賣拂又ハ貸付處分ヲ取消スベシ」此場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムヘキトキハ其成功地ノ一部又ハ全部ニ付又同シト云フコトニ改メラレ、此二項ノ方ハ「賣拂ヒタル土地ニ付テハ賣拂代金ハ之ヲ還付セス」斯ウ云フコトニ極メタデアリマス、所デ此二項ノ賣拂ヒタル土地ト云フノハ、第一項ノ未成功地ノ全部ニ付テ賣拂ヒト云ヒ、此賣拂ヒタル土地ニ付テ代金ヲ還付セズト云フ趣意デアツタデアリマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 左様デアゴザイマス

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト第一項ノ下ノ段ノ方ニ「其成功地ノ一部又ハ全部ニ付キ又同シ」ト云フノデ、成功地ニ付テモ亦賣拂處分ヲ取消スコトニナル、其取消シタ場合ニ於テ其土地ニ對スル代金ハ還付シナイコトニナルノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 是ハ全部ニ付テ、賣拂處分ヲ取消スト云フコトガ書イデアリマシテ、ソレニ付テ此場合ニ於テ尙拓殖上必要ガアレバ同ジク取消スコトニナツテ居リマスガ、其取消サレタル部分ニ對シテ賣拂代金ヲ還附セズト云フコトニ御解釋ヲ願ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト今疑ガ起ツタヤウニ成功地ノ部分ヲ取消シタ際ニ、其代金ヲ還附シナイト云フコトニナツテ、此法文ニ據ルト其分モヤハリ代金ハ還附セヌコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(黒金泰義君) 還附シマセヌ、成功地ト雖モ土地整理上拓殖上ノ必要ガアツテ還附ヲ命ジタ場合ニハ、ヤハリ代金ヲヤリマセヌ

○委員長(宮古啓三郎君) 甚ダヒドイ事デアリマセヌカ、未成功地ノ代金ハ還附サレヌコトハ兎モ角モ、成功シタ部分ノ代金マデモ還附サレヌコトダト、其賣拂ヲ受ケタル人ハ非常ニ迷惑ヲ來スコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(黒金泰義君) 併シ是ハ成功シタ土地ヲ無暗ニ取上ゲルノデアナイノデアリマシテ、詰リ拓殖上、點々成功シテ居ルモノヲ、若シ之ヲ其儘與ヘルコト、スレバ再ヒ之ヲ處分スルニ困ル場合已ムヲ得ズ取上ゲルノデ、丁度一部落ノ中デ僅カニ一分通り開墾シタカラト云ウテ、ソレヲヤルコトニスルト將來之ヲ整理スルニ困リマスガ、成功地ト雖モ已ムヲ得ズ部分ヲ取上ゲルノデアリマシテ、各部ニ互ッテ取上ゲルノデアリマセヌ、ソレデアリマスガ、拓殖上已ムヲ得ヌ場合ニ取消シテ爲ス場合デアリマスガ、是ハ還付シナイコトニ決シタデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト拓殖上土地整理上必要ガアルト既ニ成功シテアル部分デアツテモ、之ヲ取消シテ取上ゲル、其際ニ於テハ賣拂ノ代金ハ其者ニ與ヘナイ、與ヘナイ理由ハ僅カナ土地ヲ處分取消スルノデアツテ、澤山ナ土地ヲ取消スルコトガアルノデアラカラ、其位ナコトハ差支ナカラウ、斯ウ云フ御趣意デアリマスガ

○政府委員(黒金泰義君) 尙答ガ足りナイヤウデアリマスガ、詰リ拓殖上ニ於テ必要アレバ、縱令一日賣拂フテ其中デ成功シタ土地ガアツタシテモ、其目的ニ供スルノデ、

例へば百万坪ノ中ヲ牧場ニ貸付シテ、其中テ或ハアツチニモ一町歩、コツチニモ五反歩ト云フモノヲ開墾シタカト云ツテ、ソレヲ其者ニ其儘ナルコトニスルト其土地ヲ拓殖上ニ於テ使用スルコトガ出來マセヌ、ソレデアリマスカラ、始めニ賣拂フ受ケタモノモ、此ノ如キコトヲ未ダ其目的ヲ達シタモノデアリマセヌカラ、原則カラ申セバ、モウ其人々ハ起業ヲ違反シタモノト見テモ差支ナイト思フ居ルノデアリマス

○中西三郎君 此箇條ハ實ハ私ハ能ク分ツタ積デアリマシタトコログ、今政府委員ノ御答ノ節デハ、今少シ聽足リナイ、私ハ之ヲ斯ウ解釋スル、例へば斯ウ云フ一ノ方形ノ土地ヲ貸下ゲタ、然ルニ實際起業ニ當ル者ハ便宜ニ開クカラ、犬牙錯綜シテ、開ケタ部分ト開ケヌ部分トノ境界ハ誠ニ紛亂ニナシテ居ル、然ルニ之ヲ取上ゲタルトキニ開ケタ土地ダケ附與シテ、開ケナイ部分ヲ取上ゲタルコトニナルト、取上ゲタル土地ハ附與シタル土地ノ境界ヲ整理スルニ困ララウト思フ、未開地ハ幾分カ開ケヌ土地ガ付テ來テモ、サウ云フモノハ開ケヌ部分ト看做シテ取上ゲル、而シテ其土地ノ代金ヲ返サヌ、半面ニハ其代リ開ケヌ幾部分ヲ開ケタル土地ヘ付ケテヤツシマフコトモ出來ララウト思フ、之ヲ整理スル必要ニ依テ出來マスカラ、重キヲ置ケ場合デハナイガ、此法文ニ開ケタル土地ノ金ハ取ラヌト確定シテシマフト、僅カノ土地マデ爭フコトニナルカラ、念ノタメニ之ヲ置クノデスガ、ソレダケテ宜シイデスカ

○委員長(宮古啓三郎君) 尙ソレダケデハ足ラヌカト思フ、成程成功シタ部分ガ成功シナイ部分ノ間ニ挾マツテ、ソレダケヲ賣拂フ受ケタ人ニヤルコトニスルハ後差支ガ起ル、ソレ故ニ是ハ取上ゲナレバナラヌコトハ分シテ居ルガ、併ナガラ折角此賣拂フ受ケタ人ガ、成功シタ部分ヲ取上ゲラ受ケナガラ、ソレニ對シテ、一向代金ノ還附ヲシテヤラヌ、元來未成功ノ部分ヲ取上ゲタルトキハ代金ハ還附シナイトシテモ、成功シタ部分ニ付テ代金ヲ還附シナイコトハ餘程酷シバ何事モナイガ、唯不成功ノ部分ガアルヤウナリ方ヲシテ居ルカラ、ソレ故ニ多少制裁ノ意味デ成功地ニ對スル代金ヲ還附シナイデ、斯ウ云フコトデ代金ヲ還附シナイコトニシタト云フ趣意デハナイデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 制裁モ這入ツテ居リマス、向フデ成功致シマセヌ、先刻私が拓殖上ノコトヲ申上ゲマシタガ、アレハ整理上ノコトニ重キヲ置イテ御話ヲ致シマシタノデ、尙今ノ御話ニナルト拓殖ヲ勸メルト云フ精神モアルト云フコトニ御解釋下スツデモ一向差支ナカラウト思ヒマス

○横田虎彦君 尙チヨツト此貴族院ノ修正ノ賣拂ヒタル土地ニ付テ賣拂代金ハ之ヲ還附ストアル、有償ノ貸附ノ場合ハドウデス、有償ノ貸附ト云フコトハ取上ゲタ場合ハ代金ヲ返スノデスカ

○政府委員(黒金泰義君) 有償貸附ノコトハ第十五條ニ規定シテアリマス、場所ガ違フテ居リマス

○駒林廣運君 中西君ノ御質問デ疑ガ起リマシタガ、長方形ヲアツチコツチ犬牙錯綜シテ開墾シタトキニ云々ト云フコトデアリマシタガ、吾々ハサウ云フ犬牙錯綜開墾ハ出來ヌコトダラウト思フ、片ッ方ノ東カラ開墾スルトカ、西カラ開墾スルトカ、一箇年ニ何町歩宛ト云フ方法ガ出來テ居ラ、アツチコツチ食缺イタヤウナ開墾スルコトハ出來ヌコト、

思フテ居リマシタガ、サウ云フコトガ出來マスカ
○政府委員(黒金泰義君) 開墾スルトキハ向フノ勝手ニ任セマス
○委員長(宮古啓三郎君) ソレデハモウナイヤウデスカラ是デ終リマシテ、アトハ討論ニ移リマスガ、成ルベク本會議中ニチヨツト御出デラ願フデ討論ヲシテシマフコトニナルカモ知レマセヌカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、其時ニハドウセ申上ゲマスカラ……

午後零時四十一分休憩

午後三時五十九分開會

○委員長(宮古啓三郎君) ソレデハ是カラ開會致シマス、順序ハヤハリ三讀會ノ順序デ、先ダ最初ニ第一讀會トシテ本案ヲ賛成スルヤ否ヤヲ決シテ、其次ニ逐條ニ入りタイト思ヒマス

○齋藤宇一郎君 私ハ大體ニ於テ本案ヲ賛成スルモノデアリマス、固ヨリ其細微ニ至ッテハ尙研究スベキ餘地モアルダラウト思ヒマスシ、殊ニ此法律ノ精神トモ云フベキ之ヲ運用ストコロノ施行規則ハ未ダ草案デアツテ、而モ第三條第五條第六條ノ外ハ頗ル當局者モ未定見デアルト云フコトデアリマスカラ、之ヲ提ヘテ議論スルコトハ出來マセヌカラ、大體ニ於テ此法律案ヲ可決シタイト思ヒマス、而シテ附加ヘテ私ノ希望ヲ述ベタイト思フ、此北海道ノ開拓ハ我國ノ開拓事業トシテハ最モ重大ナ問題デアツテ、深ク考慮セネバナラヌコトデアラウト思フ、殊ニ此開拓ト云フコトニ付テ最モ恐レベキコトハ、開拓其者ニ重キヲ置イテ、遂ニ國土ノ保安ヲ害スルト云フコトハ頗ル重大ナル事柄ト考ヘルノデ、是迄往々其弊ニ陷リテ國土ノ保安ヲ害シタ例ガ澤山アル、北海道モ是迄ニ於テ其弊ニ陷リテ居ルト云フコトハ明カナコトデアラウト思フ、故ニ此未開地ヲ選定シ即チ百二十八万町歩ト云フモノハ大凡決定シテ置イテ、而シテ其中ノ百万町歩ト云フモノハ場所モ概略定マデ居ルト云フ御答辯デアリマシタガ、其餘ハ未定デアアル、殊ニ此外ニ於テ六十万町歩ト云フモノハ國有ノ中カラ尙選出ス御考デアルト云フコトデアリマスガ、サウスレバ尙更此開拓スベキ土地ヲ選出ス上ニ於テ、國土保安上大ナル注意ヲ加ヘネバナラヌト思フ、即チ位地等ニ於テ或ハ治水上、或ハ氣候ノ調和上、其他萬般開拓ヲ圓滿ニ、且完全ニスル上ニ於テ、最モ是等ハ慎重ノ考慮ヲ要スベキ點デアラウト思フ、殊ニ大體ニ於テ位地ヲ十分ニ研究スルベカリナク、此個人ニ許シタコロノ五百町歩乃至八百町歩ノ中デモ耕作ニ供スル土地デアルカラト云ツテ、五百町歩ヲ悉ク水ヲ伐リ、土地ヲ耕サネバナラヌトシテ、殊ニ十年間ト云フ短キ歲月ノ間ニ之ヲヤラネバナラヌト云フコトハ、最モ危險ナコトデアラウト思フ、故ニ當局者モ此施行法ノ第十條ニ於テ「開墾ノ目的トスル土地ニアリテハ」云々ト二劃ノ存置ヲ許シテアリマスガ、私ノ希望ヲ以テスレバ前述ベタヤウナ次第デ、此開墾ノ如キ或場合ニ於テハ一劃以內位ノ防風林及薪炭林ヲ殘シテ置イテ宜イ所モアテウガ、或場所ハ是デハ足りヌ場所ガアリハセヌカト思フ、即チ傾斜ノ如何、水源其他氣候ノ關係上、モツト多ク此森林ト云フモノヲ防風防霜ノタメニ森林ヲ殘シテ置カナレバ、完全ナル農作物ヲ得ルコトノ出來ヌト云フヤウナ場所モアラウト思ヒマスカラ、私ノ希望トシテハ既ニ此特定地ニ於テ六劃ノ成功ヲスレバ附與スルコトニナツテ居ル以上ハ、此拂下地ニ於テモ其位ノ餘裕ヲ付ケテ、サウシテ國

土ノ保安上十分ナル程度ノ計畫ヲ立テサセルコトガ、北海道將來ニ於テ必要ナキカト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ此第十條ノ修正ヲナスコト云フコトハ原案デアリマセウカラ出來マセウガ、サウ云フヤウナコトハドウカ當局者ニ於テ當ニ賣買上ニ於ケル不正ヲ防グト云フコトハカリニ汲々セズシテ、根本的ノ土地ヲ選定スルコトニ最モ注意ヲ拂ハレンコトヲ私ハ希望スルノデアリマシテ、ソレ等ノ希望ヲ述ベテ本案ハ大體賛成ヲ致シマス

○淺羽靖君 本案ニ對シテハ絕對的ノ反對意見ヲ有シテ居ル者デアリマセウ、サリナガラ本案ハ北海道ノ發達ノ利害ニ非常ナル關係ヲ持ツ案デアッテ、サウシテ府縣ヨリ移住スルコトノ人民ニ對シテ、最モ直接ノ利害ヲ持ツ重大ノ案デアリマス、單ニ北海道其者ノ問題ノミデハナイノデアリマス、故ニ十分ニ審議シ實際ニ適スルヤ否ヤ、拓殖ノ利害上ニ付テ如何ナル影響ヲ受ケルヤ否ヤマデ審查シタル後ニアラザレバ、是ガ贊否ヲ決スルコトハ容易ニ出來ヌト思フ、然ルニ此會期ノ逼迫シタル今日ニ於テ、短日ノ間ニ此重大ノ問題ヲ決議スルコト云フコトハ國民ニ對シテ如何ニモ不親切ナル次第デハナイカト思フ、其重大ナル問題ノ一例ヲ申セバ、從來ハ御承知ノ通り總テ無償ニシテ附與シタル次第デアリマス、然ルニ一ハ弊害ノタメ一ハ其財源ヲ得ルタメト云フ方針ヨリ是ガ生ジマシタガ、弊害ノ上ヨリ之ヲ改正スルコト云フナラバ、此法案ニ於テモ弊害ノ生ズル點ハ幾ラモアルノデ、ソレカラ收入ノ方カラ云フデモ、亦是ハ豫期ノ通り收入ガアルヤ否ヤト云フコトハ確實ニ認メラレヌ點モアルノデアリマス、殊ニ從來ハ無償附與デアアル、然ルニ今日此法案ガ出デテ小農ハ姑ク取除ケテシテ、其他ノ多大ノ耕作ヲスル者ニ向テハ無償ヨリ一足飛ビニ飛ンデ、極端ニ縱令貴族院ノ修正アリト雖モ、一町村ニ付テ先ヅ平均十七圓三十錢バカリノ收入ヲ見ニヤナラヌト云フニ至ッデハ、北海道ノ如キ道路モ其他交通便利モ進マナイ不便ノ地方ニ於テ、相當ノ資產家ナルモノガ左様ナ勘定ノ上ニ於テ、此北海道ニ來テ開墾牧畜ニ從事スルモノガアルヤ否ヤ、甚ダ私共ニ於テハ實際ニ計算ニ合ハザル仕事ナキカト思フ、故ニ計算上實際上ノ驗經ニ於テ其利益ナシトスレバ、何ヲ好ンデ有力ナル者ガ不便殊ニ不自由ノ地方ニ來テ拓殖ニ從事スル者ガアリマセウ、サウ云フ點ガ數幾ラモ有リマスカラ 本案ハ絕對的ニ否決ノ意味デナク、此際ハ慎重ニ調査スル必要ガアリマスカラ、此議會等ニ於テハ否決セラレルコトヲ希望致シマス

○中西六三郎君 私ハ本案ノ通過ヲ希望スルノデアリマシテ、貴族院修正ニ係ルモノハ修正ノ通り、其他ノモノハ原案ノ通り通過シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、愈々第二讀會ニ進ムトスレバ、各條ノ議論モ出マセウガ、唯今ハ大體ニ付テ一讀會ノ場合デアリマスカラ一讀會ニ對スル意見ヲ述ベマス、北海道ノコトニ通曉サレテ居ル淺羽君ト意見ヲ異ニスルハ本員ノ甚ダ遺憾トスルコトデアリマス、本員ハ此案ガ貴族院ニ出マシテ以來北海道ニ重大ノ關係ガアリマスタメニ、深キ注意ヲ以テ貴族院ノ審查ニ向ッテモ怠ラズ其經過ト意見ヲ看取シテ居リマシタ、從ッテ衆議院ニ廻リマシテ日ハ淺シト雖モ、本案ニ向ッテ費シタル注意ハ殆ド詳細ニ互ニテ怠ラヌ積リデアリマス、能ク本案ヲ通覽ヲ致シ、政府委員ノ説明ヲ聽キ、又貴族院ニ於テノ幾多ノ議論ニ注意致シマス云フト、要スルニ本案ニ付テ最モ吾々が注意ヲ拂ハナケレバナラヌ二ツノ重大ノ主義ガ存在シテ居ルノデアリマス、一ノ主義ハ北海道ノ未開地ヲ此上將來開墾ニ進ムベク、成ルダケ便

利ヲ與フルノ希望デアアル、一方ニ又此未開地ヨリ開墾ヲ妨ケザル程度ニ於テ、收入シ得ル金ヲ以テ半面ノ開墾ヲ助長スベキ機關ノ費用ニ充テタイト云フ希望デアアル、是ハ何レモ必要ニ相違ナイ、未開地ヲ開ク便利ノ途ヲ講ズルモ必要デアアル、未開地ヲ開クタメニ交通機關ノ完備ヲ圖ルコトモ必要デアアル、唯此未開地ノ上カラ上ガル金ヲ成ルタメ其方ヘ充當シタイト云フ觀念ト、其未開地ヲ便利ニ開カセヤウト云フ觀念トハ餘程此間ノ關係ノ調和ヲ良クシマセヌト、衝突スル主義デアアル、開墾ノタメニ十分ノ便利ヲ圖レバ無論土地モタラズ、其他其當業者ノ方面カラ見テ便利ノミ講ズルハ結構デアアル、併シ左様ノ觀念ヲ以テ單ニ當業者ノ便利ノミヲ圖ルコトニナレバ、半面ノ未開地ノ交通機關ノ金ヲ生出スコトガ消滅スル、唯今ノ北海道ノ狀態カラ見ルト、從前ノ開發時代ノ如ク種々ナル手段ヲ以テ誘導ヲシテ北海道ニ移民シナケレバナラヌト云フ時代ハ早ヤ過去リマシテ、今デハ苟モ開墾ノコトニ志望アル人ハ爭ウテ北海道ニ土地ヲ得ントスル時代ニナッテ來タノデアリマス、即チ開墾熱ハ誠ニ能ク發達シテ參ッタ時代デアアル故ニ、若シ政策ヲ誤テ此開墾ノ熱ヲ妨害スルガ如キ規則ヲ設ケレバ、無論有害デアリマスケレドモ、此今日ノ時代ガ生レ來タル開墾ノ熱ヲ妨ケナイ程度ニ於テハ規則デゴザイマスレバ、決シテ開墾ノ事業ガ退歩スル、若クハ妨害ヲ被ルト云フコトハ恐ル、時デハナクテ來テ居ル、諸君モ御案內デゴザイマセウガ、今マデハ無償附與ニナッテ居リマシタ當時ソレガ法律ノ上カラハ禁ジラレテ居ルケレドモ、其實內面ニ於テハ相當ノ價格ヲ以テ民間ニ權利ガ移轉ヲシテ居ル現狀デアリマス、法律ガ禁ジテ居ルノデサヘモ尙且種々ノ手段ヲ設ケテ貸下ケラレタ權利ヲ讓ラレテ他人ノ土地ヲ開イテ居ル、其土地ニ對シテハ少ナカラザル代價ヲ拂ッテ居ル、斯様ナ現象ガ續々北海道ニ於テ現出シテ居ルノデゴザイマスレバ、今日ニ於テ多少ノ土地ノ價格クハ立木ノ價ヲ取ルト雖モ眞實開墾ヲスル者ノ熱ヲ冷却スルコト云フ懸念ハナイノデアリマス、是モ畢竟程度ノ問題デアアル、本案ガ貴族院ニ提出ニナッタ時分ニ確定シタル數字デハアリマセウケレドモ、參考ノタメニ政府委員ノ示サレマシタ金高ハ確カニ本員等モ多クノ疑惑ヲ懷クノデアリマス、アレダケノ金高ガ上ガルダケノ賣拂ニ致シマスレバ、或ハソレガタメニ折角今隆盛ニナッテ來テ居ル開墾ノ熱ニ妨害ヲ來シハシナイカト云フ懸念ヲ有タヌデハナカッタノデアリマス、幸ニモ貴族院ニ於テ北海道ノコトニ十分ノ經驗ヲ持ッテ居ラル、委員ノ諸君ガ極メテ細心ノ調査ノ末ニ於テ、政府トノ交渉ノ結果アノ腹案ハ切下ケテ、當初ノ地代金ヨリ半減ニスルコト云フコトハ政府ノ同意ヲ得ラレタコト云フコトヲ聞イテ本員甚ダ意ヲ安シタノデアリマス、既ニ貴族院ノ政府ニ註文ヲシタ程度ノ價格デアリマスレバ、即チ一町步四圓五十錢——極度ニ於テ四圓五十錢、即チ百町步四百五十圓——今日ノ場合ニ於テ百町步ノ土地ニ於テ四百五十圓ノ價格ヲ有スルコトハ吾々聞イテ少シモ驚カヌノデアリマス、若シ便利ノ處、地味ノ良イ處——開墾ニ便利デアアルナラバ恐ラクハソレヨリ數倍ノ實價ヲ有シテ居ルト思ヒマス、最モ極度ノ交通ノ不便ノ處、開墾ノ困難ノ處ハ此價格ヲ出スコトヲ惱ムコトモゴザイマセウガ、ソレ等ノ不便ノ處ハ其實此價格ヲ徵發スルガタメニ開墾ガ出來ヌト云フヨリハ、寧ロ開墾スルニ適當ナラザル位デアアル今日ノ無償貸付ヲスルモ恐ラクハ其極端ノ不便ノ處ニ本當ニ資本ヲ投ジテ開墾ヲ企ツル人ハ無イ、無論所望ニ於テ賣渡スノデアアル、又當局者ガ良イトシテ利ノ無キ處ヲ出シタコトコガ、事業ニ從事スル

者ガツレニ陷テ不都合ナル處ヲ買受ケルト云フ懸念ハ今日ハナイノデアリマス、恐ラクハ地味ノ豐否開墾ノ諸般ノ便否ニ付テハ當局者ハ十分ニ調査サレマセウカ、業ニ從フ者ハ想フニ當局者ヨリ以上ノ多クノ注意ヲ拂フテ、當局者以上ニ精通シテ居ル、又當業者ハ當然サウシナケレバナラヌノデアリマス、畢竟本案ハ本員ノ知ル北海道ノ狀況カラ考ヘテ、極度一町歩四圓五十錢、場所ニ依テハ是ヨリ以下ニ賣ル處モゴザイマセウガ、是位ノ價ヲ取リマシテ決シテ開墾ノ上ノ障害ニナルマイト思フ、而シテ其半面ニハ其金ガ積リ積リテ北海道ノ極メテ必要ナル交通機關ノ不十分ナルモノヲ補フトスレバ、之カタメニ全體ノ北海道ニ與ヘル利益ハ廣大ナル、勿論是等ノコトハ國庫ガ十分ノ實力ヲ有スル場合ニ於テハ、最早疾クヨリ出來テ居ラナケレバナラヌ答ノモノデゴザイマスガ、限リアル國幣ニ依テ營業マル、ノデアリマスカラ、今日マデ遺憾ナガラ此設備ノ不十分ノ儘ニ進シテ來タノデアリマス、幸ニ開墾ヲ妨ゲザル半面ニ於テ此有價ニ爲スト云フコトハ、私ハ北海道ガ遠カラズ面目ヲ一新シテ發達ヲ爲シ得ルデアラウカト多クノ希望ヲ以テ此案ヲ迎ヘテ居リマス、而シテ尙特ニ諸君ノ御注意ヲ願ヒタイノハ、貴族院ノ質問ニモ現ハレナイ、今日マデ此會議ニ於ケル質問ニモ現ハレテ居リマセウケレドモ、私ハ窃ニ思フニハ、此案ノ通過ニ依リマシテ、北海道ノ今日マデ貸下セラレテアル、即チ現在ノ開墾地此現在ノ開墾地ガ被ル利益ト云フモノハ、亦尠カラズコトデアラウト思フ、道廳ノ調査ニ依ルト云フト、農耕地牧場其他ヲ併セテ今現ニ百四十万町歩ノ貸下ニナツテ居ル、此中既ニ附與ニナリ所有權ノ移タモノモ多クゴザイマセウガ、又今日未ダ所有權ノ移タモノガ多分ニアル、然ルニ極メテ輕微ナル金トハ言ヒ條、今後賣拂ハル、トコロノ土地ガ今日マデノ如クニ唯デハ往カナイ、幾部ナリトモ金ヲ仕拂フ、即チ眞ニ資本ヲ有スル直接ノ開墾業者ガ營々外、濫リニ土地ガ民間ノ手ニ這入ラヌ、斯ウ云フコトニナリマス、隨テ今日既ニ民間ノ手ニ貸下セラレテ居ル、其土地ガ必ズ此多クノ希望ヲ以テ迎ヘラル、コトニナル、即チ半面ニ幾部カ價ヲ持ツモノニナレバ、今日持ッテ居ルトコロノモノハ其價ヲ拂ハナカツタ土地デアルケレドモ、詰リ價ヲ拂フモノト同様ナ資格ニナリマス、勿論一方ハ賣拂、一方ハ貸下地デアルカラ、關係ハ違フケレドモ、一般ノ貸下セラレタ未開墾地ノ價格ヲ引上ケラル、況ヤ其半面ニ從來誠ニ杓子定規ノ成功検査等ガ今後成ルベク經濟的ニ便宜ニ執行サル、コト、云フヤウナコトモ、此委員會ノ質問ノ上ニモ明カニナツテ參リ、又場合ニ依リマシテハ開キ殘リノ僅カナ所ハ、一旦返地ヲシテ此法ニ依テ直チニ買受ケルト云フ便利ナ途ガアツテ、經濟上ノ運轉ニハ誠ニ都合好クナリマスカラ、其總テノ關係カラ——現在ノ既ニ民間ノ手ニアル未開地ノ價格ヲ引上ケルト云フヤウナ諸般ノ關係カラ考ヘマシテモ、北海道ニ於テ此案ヲ迎ヘルコトハ少シモ懸念ニ及バヌ、尙各條ニ關シテハ若シ諸君カラ御意見ガ出マシタ場合ニ、又申上ケル場合モアリマセウガ、大體此ノ如キ觀念カラ本案ハ二讀會ニ移シテ審査サレルヤウニ私ハ希望致シマス

○橋本久太郎君 私モ此案ハ餘程熟慮ヲ要シテ見タノデアリマスガ、大體ニ於テ此未開地處分法ヲ改正スルコトハ必要アリヤ否ヤト云フコトニナリマスルト、舊來ノ處分法ハ御承知ノ通り明治三十年ノ制定デアル、今日迄餘程其以來北海道モ形勢ヲ異ニシテ居ル、非常ニ三十年ニ較ベルト進歩ヲシテ居ル、ソレ故ニ此時運ニ伴ウタ改正ハドウシ

テモ必要ニ違ヒナイト考ヘル、又一方デ見マスルト以前ノ此處分法ニ對シテ隨分不備ナ所ガアルヤウニ考ヘル、之ニ對シテモ此今般ノ改正ハ稍以前ニ較ベルト周到シテ居ル、ソレデ一方ハ時運ニ伴ヒ、一方ハ不備ノ點ヲ完備ニスルト云フコトニナリマスカラ、大體ニ於テ此案ニ於テハ私ハ贊成ヲ表スル、唯茲ニ最モ注意ヲ拂ヒ私ハ熟慮ヲ要シタコトハ、舊來ノ大地積ノ無價地デアッタノヲ、有價ニシタ一事デアリマスガ、是ハ私ハ餘程考ヘナケレバナラヌ、此改正ノ要點デアルト思ヒマスガ、畢竟スルトコロ國家ノ土地ノ價アルモノヲ、何時迄モ絕對的ニ無價ニスルトコトハドウモ爲スベキコトデハナイノデアル、何レノトキカ無價ヲ移シテ有價ニスベキトキニハ有價ニシテ其價ヲ徵サナケレバナラヌノデアリマスルガ、唯此時期如何ト云フコトニ意ヲ注ガナケレバナラヌデゴザイマス、然ルニ今日ニ至ッテ見マスト絕對的ニ大地積ガ有價ニセネバナラヌト觀察スルノハ、是ハドウデアラウカト私ハ考ヘル、土地ニ依ツタラ隨分價ノアツテ而シテ更ニ其有價ニシタメニ拓殖ニ妨害ヲ來スヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、此點ニ對シテハ幸ニ貴族院ガ唯今中西君ガ述べラル、通り、原案ヨリハ此金額ヲ半減ニセラレタノ餘程穩當ニナツタラウト思ヒマスケレドモ、マダ私が是ガ聊カ金額ガドウデアラウカト多少懸念モゴザイマスガ、兎ニ角此有價ニナツタ云ウテモ、此價ノタメニ餘リ高ク價ヲ定メルガタメニ、拓殖ノ全體ニ妨害ヲ來サヤウナコトノナイヤウニ、當局者ニ於テ切ニ注意シテ價ウテサウシテ自家ノタメニ價ノアルモノデ、拓殖ニ妨害ヲ與ヘザルトキハ宜シイ、而シテ其金額ヲ有要ニ移スコトモ宜シイガ、其價ヲ食ルガタメニ却テ拓殖ノ妨害ニナラナイヤウニセラレテ、價ヲ取ラウトスルタメニ妨害ヲ及ボサヤウニナツテハ、尙イケマセウカラ此點ニ付テハ價ノ無イモノハ、無價ニ貸下ケルト云フ、幸ニ法ニナツテ居リマスカラ、價ノ無イモノハ無論是迄ノ通りニ價ナシニシ、價ノ有ル所デモ拓殖上ニ妨害ヲ來サヤウニ成ルベク廉クシテ、サウシテカラニ此價ノタメニ妨害ヲ來サヌト云フダケノ注意ヲ拂ハレルヤウニ致シタイト思フ、此案ニ付テ前ヨリ可ナリト云フコトニ付テハ、私ハ認メルトコロガアルガ、唯一ニ一ノ要點ヲ申シテ見マス、例ハ年々實地調査ヲシテ往ツテ、其調査ハ先刻段々諸君ノ弊害論モアツタ通りデアリマスガ、之ヲ數年ノ間二年々ニセズシテ、適當ノ調査ヲセラレタイト云フコトハ、是ハモウ私ハ其宜シキヲ得タモノデアルト思ヒマス、斯様ナモノヲ數ヘテ見マスルト隨分此中ニ於テモ改正シタ方が餘程實際ニ宜イトコロガアラウト思フノデアリマスガ、大體ニ於テハ私ハ是案ヲ贊成シテ、尙諸君ニ於テ二讀會ニ於テ適當ノ御修正ガアツテ、拓殖上全體ニ利益ガアツテ害ガナイト云フマデニ、此處分法ヲ一層完備セラル、ト云フ御名論ガアツタナラバ、私ハ又喜ンデ贊成スルコトニ致シマスガ、一讀會ニ於テハ私ハ贊成ノ意ヲ表シマス

○藤澤幾之輔君 諸君御贊成ナノデスカラ、敢テ多ク重テ贊成ノ意ヲ述ベル必要ハナイノデアリマスガ、唯一言贊成スル主意ヲ申上ケテ置キタイノデス、吾々同志ガ此案ニ對シテ贊成スル所以ハ、之ヲ一纏ニシテ云ヘバ、姑ク新長官ノ責任ニ任セテ見タイ、斯ウ云フ考、北海道腐敗ノ聲ヲ聞クコトハ實ニ久シイ、最早病膏肓ニ入ッテ如何トモナス

ベカラズ、言換ヘレバ其腐敗骨ニ徹シテ、名醫モ之ヲ治スルコト頗ル困難ナル場合ニマデ到達シテ居ルヤウニ考ヘル、ケレドモ總シ、其腐敗骨ニ徹シテ及ンデモ之ヲ削去ツテ、若クハ之ヲ採取ツテサウシテ治療ヲ加フベヤハリ其大病モ治セザル限リデナイ、吾々ハ本來此ノ如キ種類ノモノニ對シテハ法案ノ各條末節ニ係ハツテ意見ヲ主張セントスルモデハナイ、此ノ如キコトハ法案ソレ自身ヨリハ其局ニ當ル人ノ如何ニアル、全ク實行方法ノ如何ニアル、進ンデハ其人ヲ得ルト否トニアル、故ニ吾々ハ新長官ノ從來ノ關係カラ前途ニ多少望ヲ措クコトガ出來ルデアリマカト云フ希望ヲ有ツテ居ル、故ニ姑ク新長官ノ責任ニ任セテ、サウシテ大ナル刷新ヲ北海道ニ加ヘラレンコトヲ希望スル主旨デ、此案ニ賛成スルデアリマス

○山口熊野君 私モ唯今藤澤君ノ御論ジニナツタノト同一ノ主意ニ依リマシテ、本案ノ大體ニ賛成スルデアリマス、條文ハ如何ニ澤山アリマシテモ、又文章ハ如何ニ奇麗デアツデモ、之ヲ運用スルハ全ク其人ニアル、吾々ハ新長官ノ人格ノ上カラ、又其閱歷ノ上カラ之ヲ信任シテ、此案ノ實施ノ速ナランコトヲ望ムト同時ニ、舊來囂々タル北海道ノ弊風ヲ速ニ除却セラレタイト云フ希望ヲ以テ大體ニ賛成ノ意ヲ表シテ置キマス

○淺羽靖君 モウ一應辯ジテ置キタイト思ヒマス、中西君モ他ヨリ賛成ノ意見ガアリマシタ、殊ニ唯今藤澤君ヨリハ北海道ハ病膏盲ニ入ツテ居ルト云フ御説デアリマシタガ、成程北海道ノ一小部分ニハサウ云フコトガアルカモ知リマセヌガ、決シテ全體北海道民ハ左様ナル者ハカリデアリマセヌ、其一小部分ノ事ヲ捕ヘ來ツテ全體ヲ誣ルナラバ、天下皆然ラザルハナイデアリマス、決シテ北海道ノミハ左様ニ腐敗ノ極ニ達シテ居ルト云フヤウナ言辭ヲ受クル筈ハナイ、是ハ北海道民ノ名譽ニ關シ信用ニ關スルコトデアリマスカラ、私ハ一言述ベテ置キマス

○藤澤幾之輔君 私ノ言ツタノハ人民ノ側カラ見タノデアリマセヌ

○淺羽靖君 ソレカラ其次ニ申述ベマスガ、北海道ノ狀態ガ變テ來タカラシテ土地ヨリ金ガ取レル故ニ收入ノ點ヨリ必要ガアルト云フヤウナコトノ意味ノ賛成論者モアリマスカ、不肖ニ於テモ事實ニ於テ多少サウ云フコトハ知ツテ居ル、サリナガラ今日マデ十分之ヲ溫メテ幾多ノ年月ヲ要シテ之ヲ溫メ、漸ク北海道ガ發達シテ來タト云フコトガ社會ニ知レルヤ否ヤ、直チニ之ヲ檢束スル——檢束ト云フヨリハ寧ろ苦メル、例スレバ立木ニ於テ金ヲ取ル、サウシテ是マデ除租二十箇年ノモノヲ十箇年ニ短縮スル、サウシテ土地賣拂ニ對シテ代金ヲ初メニ取ル、先ニ金ヲ採ツテシマフ、金ヲ先ニ取ツテ若シ條件ニ違フタナラバ取上ゲルト云フ、此案ニ付テハ便利ノトコロアルコトハ本員モ認メテ居ル、從來ノ法律ヨリ良イコトノアルノモ認メテ居ル、サリナガラ極端ヨリ極端ニ互ツテ一時景氣ガ良イカラト云ツテ除租ノ年限ヲ縮メ、地代ヲ先取リラスル、木ノ代金モ取ル、此ノ如クドウモ極端ニ走ラル、ト云フコトハ如何デアラウ、假令實際ニ適スル點ガアツデモ、社會カラ見タラドウデアラウカ、北海道ハ非常ニ嚴重ニナツテ木ノ金モ取ル、地代モ取ル、ソレモ一步誤レバ取上ゲラレル、純然タル所有權ハナイサウデアアル、此ノ如キ説ガ社會ニ傳ハタトキニハ北海道ノ拓殖上極メテ非ナル影響ガ來リハシマイカト思フ、故ニ本員ハ此ノ如キ國民全體ノ利害ニ關スル問題ハ慎重ニ能ク調査ヲシタイケレドモ、ソレニハ日ガ足ラヌカラシテ遺憾ナガラ此議會ニ於テハ之ヲ否決シテ置クト、斯ウ申スデアリマス、一

言辯明ヲ致シテ置キマス

(賛成々々)又「討議終結」ト呼フ者アリ

○委員長(宮古啓三郎君) チョット私ハ平島君ニ委員長ヲ御願シテ、少シク意見ヲ述ベタイ、私ハ此案ニ對シマシテハ贊成ヲスルデアリマス、贊成ヲシマスルガ併シ此際ニ於テ大ニ希望ガゴザイマスカラ其希望ヲ述ベテ贊成ヲシテ置キタイ——先刻モドナカラカ御意見モアリマシタ通りニ、法律ハ死物デアアル、法律ハ死物デアアルカラソレヲ運用スルトコロノ人ガ良クナケレバ、其法律ハ活用ガ出來ナイ、又縱令惡ルイ法律デアツデモ運用スル人ガ良イト幾分其光ヲ發揮スルコトガ出來ルト云フノハ普通ノ狀態デゴザイマス、ソコデ本案ハ現行ノ法律ヨリハ宜イト思フ、今日ノ時勢ニ於テ明治三十年頃ニ出來タトコロノ法律ヨリハ多ク時勢ニ適ツテ居ルデアツデ、相當デアラウト思ヒマスル、相當デアラウト思ヒマスケレドモ、此法律ヲ運用スル上ニ於テ其當ヲ得ナイト云フト、ヤハリ弊害ハ必ズ出ル、例ヘバ今度ノ法律ニ致シマシタコロガ、賣拂ノ程度ハドウカ賣拂ノ代金ハドウデアアルカト云フト、開墾地デアレバ四圓五十錢以內、牧場デアレバ三圓以內ト云フ最高額ガ記載シテアルト云フヤウナ譯デアアル、其最高額ガ記載シテアツデモ、其以內ニ於テハドウ云フ風ニヤツデモ宜イ、ドウ云フ風ニシテモ宜イデアアルカラ、其運用ヲ巧クアラナケレバ又弊害ガ必ズ出ル、ソレカラ又事業方法ノ豫定ノ如キニ於キマシテモ、之ヲ拘子定木ニセズニ、洵ニ能ク其當ヲ得タ方法ヲ以テヤツテ參リマシテ結構ニ出來ルデアリマスケレドモ、法律ノ精神ヲ失ハナイヤウニ出來ルデアリマスケレドモ、若モヤハリ是ガ拘子定木ニ或ハ百間ノ木柵ヲ結バナケレバナラヌ所ガ八十間キリ結ンデナイカラ、之ヲ取上ゲルト云ウヤウナ拘子定木ノ方法ヲ以テ處分シテ往タナラバ、又非常ニ困難ナ場合ニ遭遇スル人ヲ生ジタリ、イロ／＼ナ弊害ガ出テ來ルト云フコトハ明カデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ全ク其運用スル方法ガ上手ニ往カナケレバ、斯様ナ立派ナト云フカドウカ知ラヌガ、此法律案ガ法律トナツタ曉ニ於テ、トモモ宜イ光彩ヲ發揮スルコトハ出來ナイト思ヒマス、故ニ當局者ニ向ツテ私ノ希望致ストコロハ、是ガ法律トナツテ出タ曉キニ於テハ十分ナル御注意ヲ以テ、餘リニ拘子定木デナク、法律ノ精神ノアルトコロヲ能ク御酌ミ取リニナツテ、其精神ガ變ナケレバ多少ノ所ハ融通ト云フコトノ付キ得ルヤウナ方法ニ致シテ立派ニ運用シテ貰ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ切ニ希望スルコロデアリマス、デ唯今藤澤君カラ御話ノアリマシタ通り、元來北海道ハ評判ノ惡ルカツ所デ、實際ノ事情ハ能ク分ラヌデアリマスケレドモ、或ハ世ノ中ノ人ハ伏魔殿ト稱シタリ、イロ／＼惡口ヲ言ツテ居ルト云フコトハ實際ノ事實デアリマス、其非常ニ評判ノ惡ルイトコロニ現長官河島君ガ赴任ニナツテ、大ニ廓清スルト云フ御意見デ、大ニ事業ヲ進捗シテ往テ、併ナガラ其行ツタ成績ヲ見マスルト、隨分極端ニ走ツテ居ルト云フヤウナトコロガ見エルデアアル、此弊害ヲ防グト云フコトカラシテ、銳意盡力サレルトハ誠ニ感謝スベキデアルケレドモ、物事が極端ニナルト、却テ其當ヲ失シ弊害ヲ來タスト云フコトヲ免レナイ、ソレガタメニ又北海道ニ種々ノ物議ガ起ツタヤウニ見エル、或ハ一時世人ハ北海道廳ハ警視廳ノ出張所デハナイカト云フヤウナコトヲ言ツテ批評シタモノモアツタデアリマス、此等ノコトハ誠ニ其精神ニ於テ北海道ノ道政ヲ廓清スルト云フコトニ付テハ結構ナ御所爲デアアルケレドモ、餘リ極端ニ往クト、却テ人ノ恠恨心ヲ惹起シテ、却テ拓殖事業ノ上ニ

弊害ヲ來タスト云フヤウナコトヲ免レヌヤウナコトニナル譯デアリマスカラ、其邊ハ十分御注意ニナッテ、サウシテ中庸ヲ執ルト云フコトニ御注意ヲ仰ギタイノデス、徒ラニ罪人ヲ出スト云フコトバカリデハ益ノナイコトデ、全ク罪ヲ犯シタ惡ルイ者ニ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ當然デハアルケレドモ、併ナガラ能ク慎重ニ事實ヲ御觀察ニナッテ、極端ニ走ラヌヤウニソレガタメニ拓殖事業ニ弊害ヲ來タヌヤウナコトノナイヤウニ御注意ヲ仰ギタイノデアリマス、又尙能ク希望致シテ置キタイ事柄ハ徒ラニ人ト衝突スルト云フヤウナコトヲスルノハ勿論面白イコトデハナイ、衝突シナイデ済ムコトナレバ衝突シナイヤウニシテ貫ヒタイノデアリマス、唯事ヲ好ムト云フ心デナクモ、知ラズ識ラズ衝突スルト云フヤウナコトガアルヤウニ世間ノ人ガ言ウテ居リマスカラ、サウ云フコトハ詰ラヌコトデアル、法律ニナイ事ヲアルト云フコトハイカヌガ、法律ニナクモ障礙モ何モナイ事ナラバ成ルベク人ノ便宜ヲ圖ルト云フノハ當然ノコトデアルカラ、餘リ極端ニ喧嘩ヅクニヤルト云フヤウナコトハ褒メタコトデナイヤウニ考ヘル、サウ云フ譯デアリマスカラ、ドウカ私共ノ希望スルトコロハ十分法律ヲ能ク運用セラレ、サウシテドコデモ弊害ヲ廓清スルコトニ務メラレ、併ナガラ餘リ極端デナク拘子定木デナシニ中庸ヲ取ッテ御ヤリニナルコトヲ希望致シ、サウシテ本案ニ賛成致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(宮古啓三郎君) ツレデハ大體ニ於テ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(宮古啓三郎君) 大體ニ於テ御異議ナシト認メマス、ツレデハ是ヨリ二次會ニ移リ、逐條審議ニ移リマス、諸君ノ御意見ヲ御尋致シマスガ、若シ之ヲ一括シテ差支ナケレバ一括シテ修正ノ意見ノアル方ダケガ修正ノ意見ヲ全體ニ付テ申出下サルト都合ガ宜シウゴザイマスガ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(宮古啓三郎君) ツレデハ修正意見ノアル方ハドコデモ構ヒマセヌカラ、修正意見ノ御出シヲ願ヒマス

○松井源内君 私ハ先刻申シマシタ通り本案ニ反對ノ意見ハ有ッテ居ラヌノデ賛成ノ方デアリマセケレドモ、此法文ノ中ニ一箇所修正ノ意見ヲ有ッテ居リマス、ツレハ何處カト言ヘバ八條ノ賣拂土地ノ年限ノコトニ付テ修正意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ニハ十箇年ヲ超ヘルコトヲ得ズアルノヲ十五箇年ト本員ハ致シタイ考デアリマス、其理由ヲ申シマスルト、是マデモ地積ノ如何ニ拘ハラズ、十箇年ト云フヤウニナッテ居リマシタケレドモ、此金ヲ取ルコトニ付テハ別段苦情ヲ唱ヘルノデアリマセヌガ、誠ニ此開墾ト云フコトハ諸君ノ御承知ノコトデモアリマセウガ、北海道ニ於テハ内地ノ山林トハ違ヒマシテ、非常ナル木ナドハナクモ種々難多ナモノガアリマス、故ニ此十箇年ト云フモノガ非常ニ短イノデアリマス、木ハナクモ山野地ニ難多ナモノガアル、ツレデ内地デハ一箇年三百六十五日デハアルガ、北海道デハ全ク四箇月キリナインノデアリマス、サウシテアト一箇月位ハ約ソ多少ノ時キ付ケガ出來ル位ノモノモアリマス、時付ケモシナケレバナラヌ、イロノノ仕事ヲシテ未開地ヲ開イテ往クノニタッタ五月六月七月八月ノ四月ギリナイノデアリマス、ツレ故ニ十箇年ト云フタコトコガ即チ四十箇月シカ開墾ニ從事スルコトガ出

來ナイノデアアル、故ニ是ガ一ツト又例ヘバ百町歩、五百町歩ナリノ大地ガ全部宜シイ土地デアリマスレバ、政府ノ御覽ノ通り、新ノ土地ハ十箇年ニ出來マセケレドモ、少シ中位ノ土地ニナリマスルト到底サウハ行カナイ、例ヘバ六分ニシロ八分ニシロスルヨリ外ナイノデアリマス、一方ニハ金ヲ拂ッテ居ルカラ、其儘検査ニ掛ッテ變地命令デ無理ニ金ヲ使ハナケレバナラヌ、ツレデドウシテモ、十ヶ年デ此成功ヲ見ルコトハ出來ヌノデアリマス、誠ニ土地ハ惡ルイニ年限ハ迫ッテ居ルカラ詰リ無理ナル金ヲ入レルコトニナル、唯今政府委員ノ御説明ニナッテ五圓云々ト申シマセケレドモ、中以下ノ土地ニナレバ到底五圓ヤ七圓ヤ十圓デハ此開墾ハ出來ヌノデアリマス、ツレハ良イ土地ナラ五圓デモ出來マセウ、又年限モ十ヶ年アレバ成功スル土地モアリマセケレドモ、左様ナ土地ト云フモノハ恐ラクナイト言ッテモ宜イノデアリマス、私ハ此事ニ付テハ此中デ他ノ所デ十五年ト云フモノアリマスカラ、此賣拂土地ニ對シテモヤハリ十五ヶ年ト云フコトニ修正ヲシテ戴キタイ、又委員諸君ニモ賛成ヲ求ムル次第デアリマス、ツレカラモウ一ツハ此法文ニハアリマセケレドモ、此委員會ノ初日ニ検査ノコトニ付キマシテ長官ノ説明ヲ承ッテ本員ハ安心シテ居リマシタガ、其中デ昨日カ一昨日デゴザイマシタカ、承ルト少シ又其御話ガ變タ點ガアルト思フノデゴザイマスガ、ツレハ此ノ法文ノコトデハアリマセヌガ、其検査方法ニ對シテ御話デアリマス、個人ノ所謂無償ノ方ノ貸付シタ土地、是ハ検査ノ時分ニ先ヅ六分位マデ出來レバ後トハ十分ニ是ハ成功ノ見込アルト、斯ウ云フモノハ直グニ附與シテ民有ニ書換ヘテ呉レル、ツレカラ錢ヲ取ッテ方面、所謂大地積、ツレモ六分位出來レバ是ハ即チ後ノ成功ガ出來ルモノト見テ検査ヲ済マセルト斯ウ云フコトニ御説明ガアッタノデアリマスガ、ツレガ二日ニ至ッテ其邊ガ少シ間違ッテ居ッタヤウニ承知シテ居リマス、是モ無償ノヤツモ又ハ此賣拂ヲ致シマシタモノモ、政府ガ見テ後トノ四分ハ成功ガ出來ルト云フ見込ノ立ッタモノハ、同ジコトニシタイト思フノデアリマス、ツレハドウダト申シマスルト、是マデ諸君ガイロノ御話ノアリマシタ金モ取り、又地租モアリマスルカラ十ヶ年モ經ツ中ニハ、總テノコトガイロノ變ッテ居リマスカラ、之ヲ一ツニシテ、其大小ニ拘ハラズサウ云フコトニシタイ、非常ナ困難ヲシマセヌトモニナラヌ、土地ガ澤山アルノデゴザイマス、是等ハ金ヲ出スコトニ致シマスレバ、左様ナ都合ハナイカモ知レマセヌケレドモ、十分ノ年限ガアリマセヌケレバ、中等ノ土地デアリマハテモ唯金バカリデハ成功シナイノガアリマス、唯金バカリ入レ、バ直グニ立派ナ土地ニナルトハ到底イカヌノデアリマス、十箇年位デハ立派ナ土地ニハナリマセヌ、ヤハリ年限ガ長ク掛ラネバ相當ノ開墾地トハ見ラヌノデアリマス、故ニ私ハ此十箇年ト云フ年限ヲ増シテ十五年トシ又一方ニハ此検査ノ方法ニ付テモ無償ノモノモ有償ノモノモ同ジク六分ナラ六分マデ出來レバ後ノ方ハ是ハ出來ルト云フ御見込ガ立ッタモノハサウ云フコトニシテ戴キタイ、此二點ヨリ外ニナイノデアリマス

○平島松尾君 本員ハ全部貴族院修正通り賛成致スモノデアリマス、ツレデ其賛成ノ理由ハ段々諸君カラ御述ベニナッテ居リマスカラ、詳細ノコトハ申述ベマセヌガ、今松井君ノ御説モゴザイマシタケレドモ、之ニ一條デモ修正ヲ加ヘマスレバ、此案ハ恐クハ此議會ニ成立ツコトハ出來ナイト私ハ考ヘルノデアリマス、若シ期日ガゴザイマスレバ、或ハ字句ノ上ニ或ハ條文ノ上ニ付テ一修正ヲシナケレバナラヌ點ガナイデモアリマセヌケレド

モ、併ナガラ多少ノ修正ノタメニ、此全部が成立タヌト云フト、甚タ北海道ノタメニ遺憾アリマス、段々御述ベニナリマシタ通り、北海道ノ土地貸下ノ弊害ト云フモノハ殆ド極點ニ達シテ居ル、今改メズンバ此弊害ヲ益々増長シテ止マルトコロヲ知ラナイノデアリマス、先刻淺羽君カラ北海道云々ト云フコトヲ申サレマシタガ、北海道ノ人民ガ決シテ惡イト云フノデアリ、北海道ニ行テ其土地ヲ拂下ケル其人ト其拂下ヲ爲ス役人ノ間ニ其弊害ガ今日行ハレテ居ルノデアリマス、此弊害ヲ除イテ土地ノ貸下ヲ圓滿ニ爲スト云フコトニ付テハ、斯ノ如キ法ニ依テ此弊ヲ改メラザレバ其目的ヲ達スルコトハ殆ド難イノデアリマス、ソレヲ矯弊ノ點カラモ一日モ之ヲ延バスコトガ出來ナイト云フ急要ニ迫テ居ルト自分ハ信ジテ居リマス、ソレカラ又本案ハ一面ハ收入ヲ此改正ニ依テ得ルト云フノデ、是ガ又北海道拓殖ノ上ニ付テ大關係ノアル問題デ、自分ガ北海道ヲ見ルトコロニ依ルト、開クニ便利ナ地ハ殆ド今日ハ開キ盡シテ居ルト言テモ宜イ、是ヨリ以上ノ北海道ノ拓殖ヲ進ムルニ付テハ或ハ交通ノ便ヲ開キ、或ハ築港ヲ爲シテ、此拓殖ヲ今一段進メナケレバナラヌト云フ實況ニナテ居リマス、然ルニデス、或ハ道路ヲ開キ、或ハ鐵道ヲ敷設シ、或ハ築港ヲ爲スト云フニ付テ今日ノ財政ノトコロデハ、北海道ヨリ上ガ収入デモナケレバ、此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、故ニ若シ此案ガ通過致サナケレバ、明年問題トナルベキ築港案モ消滅スル、故ニ此案ガ一年後レタナラバ弊害ヲ矯メルコトモ出來ナイノミナラズ、北海道ガ種々ナル事業上ノ經營モ又一年後レノデアリマス、而シテ此案ガ再ビ通過スルヤ否ハ豫期出來難イ、如何ナル變化ガ來ルカモ知レナイノデアリマスカラ、此法案ノ通過スルト通過セナイトハ拓殖上大ナル關係ガアルト存ジマス、故ニ松井君ノ憂ヒラル、ガ如キ不都合ヲ來シタナラバ、次ノ議會ニ修正スレバ宜イノデアリマスカラ、貴族院修正ノ儘テ全部賛成シナケレバ此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、貴族院ノ此案ニ對スル經過ヲ議事速記録ニ就テ見マシテモ、貴族院モ此案ニ付テハ綿密鄭重ニ議ヲ盡サレタノデアル、殊ニ此案ノ委員トシテハ前々北海道長官タル原君、北垣君、或ハ柴原君ノ如キ、北海道ニ經驗アル人々ガ研究シテ茲ニ至タノデスカラ、一二不足ノ點ガアツテモ冀クハ此案ハ大體ニ於テ、貴族院修正ノ通り可決シテ、一部ハ矯弊ノ目的ヲ達シ、一部ハ北海道ノ事業ノ經營ニ速ニ著手スルヤウニ希望致シマスカラ、不都合ナ點ハ後ニ改正シヤウトモ、兎ニ角貴族院修正通り可決セラレントウ希望致シマス

○淺羽靖君 第二條ニ付テ修正ガアリマス、第一條ノ未開地ノ性質上第二條ノ賣拂ト云フモノハ、ヤハリ是ハ土地ト木ト共ニ合シテ競争入札ニ附スルコトニ致シタイ、其理由ハ區別ヲ付ケテ土地ノ善シ惡シヲ評價スルコトモ、實際席上デ御話ニハナリマセヌガ、ナカノ困難デ、失禮ヲ申分デスガ、少額ノ給料ヲ取テ居ル人ガ森林大澤ノ中ニ這入ッテ土地ノ等級ヲ分ケルコトハ困難デアルノミナラズ、立木ノ調査モ困難デアル故ニ、時日ガアレバ弊害ヲ除去スル立派ナル精神カラ此法案ガ出來テ居リマスガ、事實行ハレナイノミナラズ、民間デ其土地ニ就テ永久子孫ノ計ヲスル者カラ見レバ、當局者ヨリ最モ注意スルト共ニ念ヲ入レテヤラナケレバ經營ガ出來ナイノデアル、故ニ此土地ヲ賣ルト云フコトニナレバ、賣ルナラバ入札ニシタガ宜カラウ、サウスレバ政府ニ於テ假リニ等級ヲ極メテ調ベルヨリハ、買フ方ノ人ハ此土地ニ入用ノ水ガ幾ラアルト云フコトヲ土地ノ性質ヲ調ベテ入札スルカラ公平デアル、ノミナラズ又役人ノ方デ、オ前ハ信用ガアルカラヤル、オ前ハ資力ガ足ラヌカラヤラヌト云フヤウナコトハナイ、又斯ウ云フコトヲスレバ、煩雜デモアリ、苦情モ起リ易イ、追々五町歩ノ農家モ入レ、其外ニ有力ナル大農ヲ入レルトナツタ以上、大農ハ入札トシタガ良カラウト思フ、其次ノ理由ハ若シ本案ノ如クナラバ、四圓五十錢ト云フ最高定限ヲ設ケテ居ルカラ、良イ土地ハ希望者ガ出來テ賣レテシマツテ、段々津ガアツトニ殘ル、サウスルト歲入ノ幾分デモ多イ方ガ良イト云フ當局者ノ希望カラ、是ガ出來テ居ルトスレバ希望通り往カナイカモ知レナイ、若モ買手ガナカツタナラバ土地ヲ明ケテ置ク譯ニ往カナイ、五町歩ノ百姓ニヤツテ拓殖ヲ早カラナケレバナラヌ、サウシテ其收入ヲ得ンガタメニ其土地ヲ殘シテ置クト云フコトハ、事實斯ウ云フ百姓ガ這入ッテ來レバヤラザラ得ナイ、其方ハ無償無代デアル、故ニ收入バカリニ重キヲ措ク譯ニ往カナイ、收入ノ豫算モ違フコトニナリマス、ソレデ絕對的ニ惡ルイ土地バカリ殘ルト思ハナイ、良イ所ハ入札ニ掛ケレバ八圓、九圓、十圓ニ賣レル、良イ所ヲ賣テ往ケバ惡ルイ所ハ廉ク賣テモ平均シテ來ル、最高四圓五十錢トシテ、以下等級ヲ附ケレバ豫定ノ收入ガ取レナイ、ノミナラズ其手續煩雜ニシテ決シテ真正ノ等級ガ得ラレナイ、故ニ冀クハ是ハ土地ノ賣拂ハ競争入札ニ附スルコトニ致シタイト思ヒマス、其次ニ第十四條ノ但書ハ賣拂代金ハ之ヲ還付セズトアリマスガ、是ガ穩當ヲ缺イテ居ルト思フ、私ハ北海道ノ土地ハ五町歩ノ農家ハ別トシテ、賣ルト云フ主義ヲ持ッテ居ル、賣ルト云フハ所有權ヲ移スト云フ主義ヲ有ッテ居ル、故ニ二條ヲ申シマシタ通り、入札デ賣ツタ以上ハ政府ハ其見込通りノ金相當ノ公ノ價額ヲ取ルカラ、此但書ハ削ツタガ宜イ、サウスルト論者ガ言フニハ、サウスレバ買ウテ置イテ開カズニ置クデアラウト云フコトヲ云ヒマスガ、從來サウス云フ弊モアツタノデアル、ケレドモ今日ハナカノ左様ナモノデ、金ヲ掛ケテ利息ニモ廻ラナイモノニ、ウツチヤラカシテ居ル者ハナイ、假令アルニシテモサウス云フ者ハ市街地ニ屬スルモノカ、或ハ非常ニ港ノ便利ノ所ヲ主トシテ置イタラ宜イカモ知レヌケレドモ、山奥ノ今日殘ッテ居ル不便ナ部分ニ付テ左様ナコトヲシテ金ヲ遊バシテ置クト云フコトハ、三菱ト雖モ三井ト雖モシナイノデアル、ソレ故ニ此箇條ヲ削ラヌトキニハ、第一原案ノ如クシテ置ケバ不安ノ念ガ起ル、北海道へ行ッテ土地ハ買ハニヤナラヌ地代ハ取ラレルト云フコトデアツデ、役人ノタメニ檢査ヲ受ケテサウシテ開カナイトキニハ取上ケラル、多少開イテ居ッテモ缺點ガアレバヤハリ取上ケラル、斯様ナ危險ナコトデハ地面ヲ買フ念慮モ起ラザラ、云フ迄寒ノ地ニ行ッテ仕事ヲシヤウト云フ念モ起ラヌ、當局者ノ辯明ニハ二十餘人モ希望者ガアツタトキニハ入札ニスルカモ知レヌ、又從來ノ規則ニ於テモ入札ニ附スル箇條ガアツタ、シテ見ルトハドウシテモハッキリ入札ニシテ而シテ其所有權ヲ與ヘテシマウ、ソレカラ相當ノ年限ガ來レバ今マデ地方稅ヲ課シテ居ルカラ地方稅ヲ課シテ、サウシテ一定ノ年限ガ來レバ隣地ノ比較ニ依ッテ國稅ヲ取レバ宜イ、必シモ土地ハ鐵ヲ入ルカラ物產ガ上ルト云フモノデヤナイ、實例ヲ見ルト兎ニ角、役人ノ檢査ヲ受ケテ拂下ゲテシマフ、サウシテアツト荒レル、ソレハ法律上アツト荒サウガ構ハヌデ置クト云フ所ガ澤山アル、事實サウス云フ譯ニナツテ居ル、十分利益ナルコトバカリニ土地ヲ開カナクテ其天然ノ草デ例ヘバ兎ヲ飼フ、狐ヲ飼フ、惡ルイ土地ナラバ其方ガ金ガ上ル、景色ノ好イ立派ナ土地ナラバ「ホテル」ヲ建アルナリシタガ金ガ上ル、必ズ鐵ヲ入レテ開イタカラト云ッ

テ利益ノアルモノヲヤナシ、其利用方法ノ如何ニ依ツテ大變利益ガアリ、又不利利益ニナルノデアリマスカラ、其處マデ文明ノ今日ニ於テ弊ガアル、弊ガアルト云フ、唯抽象的ノ議論ニ於テ何處マデモ政府ト約束シタル方法ノ下ニ於テ、損益ニ拘ラス兎ニ角開カケレバナラヌト云フサウ云フコトハ從來アル弊デ、自由ヲ與ヘナイカラ人民ハ安シテ土地ヲ得ナイ、又自由ヲ與ヘレバ歲入ヲ謀ル點ニ於テ地價ガ上ルカラ入札ニ掛ケタガ利益ガ多イ、ソレ故ニ但書ヲ削ツテシマウト云フ議論デアリマス、ソレカラ其次二十九條ニ至ッテ十年ノ後ニアラザレバ地租ヲ賦課セヌト斯ウゴザイマス、前刻大體論ニ於テ述ベタ通、私モ決シテ政府ノ歲入ヲ希望シナイノデハナイ、權利ヲ主張スル以上ハ歲入ノ多キヲ望マンケレバ、人間ノ權利ハ主張ガ出來ヌ、故ニ地租ハ早ク納メタイ、ケレドモ北海道ノ未ダ開ケザル土地ハ百万町歩以上アツテ、多少獎勵シテ早ク開カケレバ——遲ク開クト云フ御意見ナラバ宜シケレドモ、早ク開キ、早ク國庫ニ其稅ヲ舉ゲルト云フ方針ナラバ、今回ノ如ク何モ彼モ極端ナリ方デナク、ヤハリ除租年限ノ如キ從來ノ二十箇年ト云フコトデナケレバ、人民ハ安シナイデラウト思フ、現ニ歲入ヲ此土地ナリ立木ニ求メルト云フニ御賛成モアリマスルガ、是亦私ハ絕對的ニ反對デハナイケレドモ、北海道ヲ唯土地ノ拂下ラスル、土地ニ生ズル物ノ代價ヲ以テ經營スルト云フコトハ、如何ニモ當局者トシテ狹隘ナル政策デハナイカ、年々拓殖ニ多大ノ金ヲ入レ、鐵道モ架ケル、電信、郵便或ハ電話ヲ架設シテ多大ノ金ヲ投ズル以上、年々ノ統計ニ依ツテモ政府ノ收入ハ間接直接ト問ハズ幾多ノ稅ガ増シツ、アル、然レニ出テ來ル金ハ大藏省ニ取ラシテ、其金ヤ一錢一厘デモ手ヲ付ケズ拓殖ノ上ニ利用スルト云フコトヲ一言半句モ出ス能ハズシテ、大藏省ニヒクノシテ此ノ如キ狹小ナル經論ヲ施スト云フコトハ却テ進マザル結果ニナリハシナイカ、故ニ一時ニ何モ彼モ便利ヲ與ヘルト云ヘバ、一方ニ不便困難ヲ與ヘルト云フ弊ガ起リハシナイカ、是ハ比較的ヲ申スノデアリマスガ、希クハ此十年ト云フコトハ從來ノ如ク二十年ニ據置カレンコトヲ希望シマス

○駒林廣運君 チョット意見ヲ聞イテ贊否ヲ決シヤウト思ヒマスガ、第五條ニ素地ノ儘使用スルモノニ對シ有償又ハ無償ニテ貸付スルコトヲ得ト云フノガアリマス、是ハ政府者ノ御答辯ニ依ルト誠ニ小サナモノニ付テ行フト云フコトデアリマスガ、競争入札ニセヌト云フ……

○淺羽靖君 ソレハソレデ宜ウゴザイマス、其意デス

○駒林廣運君 ソレカラ第八條ハ此儘成功期間十年其必要ハ何處ニアリマス

○淺羽靖君 無論取ツテシマヒマス

○駒林廣運君 競争入札ト云フ一點ハ淺羽君ニ贊成致シマス、元來私ハ土地ヲ賣拂フト云フコトガ未ダ其時機アルマイト云フノガ元來ノ考ヘデアツテ、甚ダ不安ニ考ヘル、全體無償ト云フ上ニ更ニ小屋掛料ノヤウナモノデモ與ヘデモシナカタラ十分目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フト云フノガ、私ノ初一念デアル、然レニ前刻來段々御論ニナルトコロニ依ルト北海道ノ唯今ノ狀態ハソシナモノデハナイ、モウ賣拂フニシテモ十分望人ガ多イ、果シテサウ云フ狀態ナラバ國庫ノ收入ノ上ルコトデアルカラ枉ゲテ贊成スル、元來私ハ此開墾ト云フコトハ非常ナ事業デ、又薄利ナ事業ト考ヘル、私ハ北海道ニ屢々遊ンデ幾度モ時ノ長官カラ面白イ所ガアルカラ開墾デモヤッタラドウカト云フコトヲ承ッ

タケレドモ、是ハ富豪ノコトデ吾々ノ爲スベキモノデハナイト思フタ土地ト云フコトニ對シテハ殆ド考慮ヲ費シタコトモナシ、又サウ云フヤウニ開墾モ非常ニ薄利ナモノデ、且困難ナモノト考ヘルカラ、前申シタ通、無償付與ノ上ニ獎勵ヲ加ヘタラ初メテ目的ヲ達シヤシマイカス様ニ考ヘマスケレドモ段々ノ御説ニ依ツテ北海道ノ事情トシテ收入ニ於テモ宜イ、競争ガナイ以上ハ排斥スル途ナシ、サウナツテ見ルト北海道長官ハ一町歩九圓ト云フコトデアル、貴族院議員ハ是高イ四圓五十錢ガ相當デアルトシテ修正セラレタ、私共其適從スルトコロガ分リマセヌ、九圓ガ相當デアルカ、四圓五十錢ガ相當デアルカ、其ノ上カ下カ實ニ適從スルトコロガ分リマセヌ、然ル以上ハ之ヲ競争入札ニシタナラバ、自分テ算盤ヲ探ッテ引合ハヌナレバ買ハヌカラ差支ナイ、高ク賣レテ收入ヲ増スト云フ目的ヲ達セラレル所ハ買フ、引合ハヌ所ハ已ムヲ得ズ開墾ノ目的ヲ達スル所ハ低ク賣ラナケレバナラヌカラ、此方ガ一番宜カラウト思フ、私ハ價ガ分ラヌト同時ニ競争入札スルバ之ヲ買受ケル者ガ親切ニ取調ベテ相當ノ價格ヲ買フ、故ニ適當ノ修正ト思ヒマスカラ其一點ダケヲ贊成致シマス、併シ之ヲ條件附ノヤハリ入札賣拂デアツテヤハリ開墾スルニハ年限ヲ附シ、其出來ヌトキハ還付セシムルハ當然ノ處分ト思ヒマスカラ此點ハ贊成致シマセヌ、松井君ノ說ノ成功期限ヲ五年延バスト云フノハ相當ノ說ト思フカラ贊成致シマス、入札ノ法トソレカラ松井君ノ年限ヲ延ベル此點ヲ贊成致シマス、平島君カラ頻リニ急グト云フコトヲ述ベラレマシタガ、實ハ此案ハ北海道ノ運命ノ決スルトコロデ、是ハ實ニ平島君ハ北海道ニ詳シヤウニ心得テ居マスガ平島君ノ御説ノ如クニ致シマス贊成スルコトハ出來マセヌ、其譯ハ北海道ノ開墾ハ第一期ニ終ツタ、第二期モ終ツタ、今度ハ第三期ト云フガ詰リ困難ノ土地ニ進シテ參ラナケレバナラヌト、コウ云フ議論カラ參リマスト土地ヲ賣拂フデ錢ヲ取ルト云フコトハ、全ク矛盾シテ參リマス、今開ケベキ所ハ皆開ケタカラ、詰リ第三期トカ第四期トカ云フ頗ル困難ノモノト斷定ヲ下サナケレバナリマセヌ、併ナガラ大體ニ於テ賣拂フト云フコトガ出來得ル場合デアルト云フコトハ、輿論ガ殆ド決シテ居マスカラ、之ヲヤルト致シマスレバ競争入札ニシテヤルガ適當ナ方法デアルト思ヒマス

○中西六三郎君 本員ハ先刻貴族院ノ修正ノ儘全體ヲ可決スルト云フ意見ヲ申述ベテ置キマシタ、然レニ松井君淺羽君カラ多少修正ノ御意見ガアリマシタカラ、ソレニ對シテ一言申上ゲテ置キマス松井君ノ心配セラレ、コトハ御尤ノ筋ト思ヒマス、私モ實ハ相當ニ考ヘテ見タ現行ノ貸下制度ニ於テハヤハリ此法ノ通り十年ニナツテ居リマス、詰リ現行ノ十年ヲヤハリ引續イテ居ルモノデアルガ、サテ現行ノ十年ト云フノハ企業者ノ立場カラ申シマスト云フト、冬期ト云フモノハ稍窮屈ナ感ガアル、故ニ私ハ是ガタメニ今後幾分か窮屈ニナルカモ知レヌト思フタノデアル、ト云フモノハ今日マデ貸下ゲタルモノヲシテ開カナイモノハ返上スルノデアルガ、今後ハ買フノデアルカラ沒收サレラカラ、幾ラカ今日マデノ心懸ケトハ異ナル心懸ケテ開カケレバナラヌ、責任モ重クナリ注意スベキ點ト考ヘマスガ、併シ尙考ヘテ見マスルト、第十一條ノ場合ニ依ツテハ、其半分ノ年限ヲ延長スルノ規定ガアリマス、此場合ニ於テ曩ニ質問ノトキニ政府委員ニ意見ヲ求メタノハ幾分か此等ニ用意シタ積リデアル、「天災其他避ケカヘラサル」ト云フコトヲ餘リニ極度ニ解釋スルト云フコトハ冬期ニハ氣ノ毒ナ企業者ガ出來ルカモ知レヌ、避ケベカラズト

云フコトヲ相當ノ意味合ニ解釋シテ貫ヒタイト云フノハ、最初企業ノ方法ヲ立テ、買フ
トキニ現在貸下ハ十年目目的ヲ立テアル、今後モソレデヤツテ參ラナケレバナリマセヌ、松
井君ハ思寄ラザル困難ガ現ハレタトカ、若クハ其他諸般ノ差支ノタメニ餘儀ナク仕事ガ
進行シナイ、營業者ガアレバ其理由ヲ徵シテ殊更ニ取上グルト云フ觀念ナクシテ、保護
スル主義ニ於テ之ヲ導クナレバソレ等ノ困難ハ營業者ノ怠慢ニ出ヅルニアラズシテ相當ノ
理由ヲ備ヘテ居レバ十一條ノ期間ノ延長ガ出來テアラウト思ヒマス、ソレカラ尙松井
君ハ開墾スルニ僅ニ四ヶ月シカ働ク時間ガナイカラ十年テ四十ヶ年ト云ハレバ、松井
君ハ北海道ノコトハ能ク御承知ノ通り、成程附特收穫トハ時間ガ違フ、併シ開墾
スル多クノ部分ハ冬雪ノ上デアルノデ、附特起テ參ルト云フコトニナツテ居マスカラ、ヤ
ハリ冬ノ時間モ開墾ノタメニ必要ナル仕事ヲヤツテ居マス、又道廳ガ大體ヲ調ベテ賣拂
フト云フガ、其中ニ手ヲ着ケテ見マスル惡ルイ土地ガ多ク、豫定ノ工事ヲ進メルコトガ
多クノ場合困難デアル、是ガ即チ企業方法ヲ定ムルニモ餘リ拘子定規ニナラヌヤウニ希
望スルノデ、是ハ松井君ト同様ニ懸念ヲ致スノデアル、若シ其企業方法ヲ机上デ割出
シテ、サウシテソレダケノ仕事ノ成功ヲ強ユルナレバ、今日迄ノ貸下ケ程度ニ於テ多ク企
業家ガ困難ヲ感ジタコトヲ繰返ス、將來ハ實地調ベタ状態ニ適合スベキ相當ノ企業方
法ヲ是認シテサウシテ其企業家ノ事業ノ上ニ便利ヲ努メテ與ヘルヤウニ當局者ガ注意ス
レバ今日迄ノ如ク愚ナ不經濟ノ開墾ヲシタ弊害ガ除ケル、ソレガ除ケルト樂ナトキニ樂ナ
部分ヲヤルトシ、又面倒ナ所ハナンスルコトモアリマセウ、詰リ自由ヲ與ヘテ置ケバ十年デ
大體出來ルト思ヒマス、已ムヲ得ザルトキハ延べル、斯ウ云フ考ガ起リマシタカラ強テ法
文ニ修正ヲ加ヘテ爭ハナケレバナラヌダケ必要トモ思ヒマセヌカラ、原案ノ儘ニ贊成シタ
次第デザゴイマス、願クハ營業者ノ松井君等ノ北海道ノ事情ニ詳シイ人ノ懸念セララル
事柄ハ、將來トモ十分ノ盡力ト注意ヲ望ムコトシテ、サウシテ是ハ原案ニ此際決シタ
イ、ソレカラ淺羽君ノ修正意見ガ二ツアリマシタガ、其第一ハ第二條ノ賣拂ノ競争ニシ
テ、且無條件ニシタイト云フ御意見ト承リマシタ、是モ一ノ御意見デゴザイマセウガ、併
ナガラ私ハ想フニ、北海道ノ開墾ノ熱誠ハ今日先刻モ申ス通り十分發達シテ居リマス
ガ、今此土地ヲ賣拂フニ無條件デ、サウシテ競争ノ制度ヲ採ルト云フコトニ致シマス
云フト、サウスルト是ハ極メテ局部ダケハ宜イカモ知ラヌガ、大體ニ於テハ私ハ困難ガ到
來シハシナイカト思フ、畢竟四圓五十錢ト云フ價デ賣ルト云フコトハ、私ノ積リデモ實ハ
廉イ賣方ヲ政府ハスルト思ヒマス、高イモノナレバ競争シテ良イケレドモ、私ノ積リデハ寧
ロ廉イト思フ、其代リ半面ニハ相當ノ條件ヲ附ケル、斯ウ云フコトニナツテ居ル積リデア
リマス、而シテヤハリ此法文ノ全體カラ申スト、一面ニハ開墾業者ヲ保護スル觀念ガ全
ク廢テ居ラヌ、其代リ其半面ニ相當ノ制裁モ付テ居ル、斯ウ云フ趣意カラシマスレバ
是ハ全ク民間自然ノ競争ノ状態ニ於テ開カレルト云フ觀念ノ下ニ制度ヲ採ルト云フコ
トハ俄ニ贊成ガ出來ナイ、殊ニ淺羽君ノ言ハレノハ、此政府案ノヤウニスルト廉イモノ
デアルカラシテ、良イモノダケヲ競争シテ取ツテシマツテ、惡ルイ所ハ容易ニ開ケヌコトナリ
ハシマイカト言ハレマシタ、澤山理由ヲ述ベラレタガ、其理由ノ中ニ斯ウ云フコトモアツタ、
ソレハ競争ニスルト尙心配シナケレバナラヌ、マダシモ此制度ナレバ此邊ノ處ヘ付ケテ適
當ノ計ヒモ出來ルト思フ、ソレカラ十四條ヲマルデ取ルトナルト、此法律ノ要メガ壞レタ

ヤウニナルカラ、是ハ格別詳シク申サヌデモ宜イト思ヒマス、十九條ノ十年ヲ現行ノ儘ニ
シテ置カウト云フコトハ

○橋本久太郎君 ソレハ贊成ガナイ

○中西六三郎君 ソレデハ辯駁ハ止メマス

○委員長(宮古啓三郎君) ソレデハ採決致シマス、チヨット淺羽君ニ伺ヒマスガ、第二
條ハドウ致シマス

○淺羽靖君 但賣拂ハ總テ競争入札ニ附スルモノトス

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト第二條ノ土地ノ賣拂ト云フハ勅令ニ此法律
デハ讓ツテアルガ、之ヲ勅令ニ讓ラズシテ、此法律案ノ中ニ賣拂ハ競争入札ニスルト云フ
コトヲ書込ムト云フノデスナ

○淺羽靖君 サウデアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) ソレニハ贊成ガアリマスカ

○駒林廣運君 贊成

○委員長(宮古啓三郎君) 決ヲ採リマス、淺羽君ノ意見ニ御贊成ノ方ハ舉手ヲ願
ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 決ヲ採リマス、淺羽君ノ意見ニ御贊成ノ方ハ舉手ヲ願
ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 少數アリマス、原案ノ儘ニ決シマス、ソレカラ其次ハ第
八條ノ修正案ニ付アチヨット松井君ニ御尋シマスガ、八條ノ十年ヲ十五年ニ改メルト
云フコトデスカ

○松井源内君 左様デアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) ソレニ對シテハ駒林君ノ贊成ガアリマスガ、チヨット淺羽
君ハ全部削除デアリマスカ

○淺羽靖君 「十五年箇年ヲ超ユルコトヲ得ス」トスレバ宜シイ

○委員長(宮古啓三郎君) 淺羽君ハ賣拂主義ニシテシマツテ、後トノ事業ハ構ハヌ

○淺羽靖君 イヤ、チヨット實ハ削除デアリマス

○委員長(宮古啓三郎君) 淺羽君ノ削除説ニ贊成ガアリマスカ——贊成ガアリマセ
ヌカラ、松井君ノ十五年說ニ付テ贊成ガアリマスカラ決ヲ採リマス、松井君ノ案ニ贊成
ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

○委員長(宮古啓三郎君) 少數

○委員長(宮古啓三郎君) 少數、是モ原案ニ決シマス、後トハ十四條ノ淺羽君ノ
修正ニハ贊成ガアリマセヌカラ決ハ採リマセヌ、ソレカラ御相談致シマスガ、十四條ハ貴
族院ノ修正通りニ御異議アリマセヌカ

マセヌカラ修正ハ成立チマセヌ、ソレデハ貴族院修正通り御異議アリマセヌカ
○委員長(宮古啓三郎君) 貴族院修正通り決シマス、第二十條貴族院修正通り
異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト云フ者アリ

○委員長(宮古啓三郎君) サウスルト貴族院修正通り決シマス、後トハ原案通り總
テ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(宮古啓三郎君) ソレデハ全部貴族院修正通り決シマシタ、三讀會デアリ
マスケレドモ、別段御異議ガアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(宮古啓三郎君) ソレデハ兎ニ角貴族院修正通り決シマシタ

○平島松尾君 一二箇條ヲ述ベテ諸君ト共ニ希望ヲ述ベテ置キタイと思ヒマス、其
點ハ斯ウ云フ點ガ一ツデアリマス、此資格ヲ定ムルト云フコトヲ政府委員カラ言ハレテ居
リマスレドモ、毎々御論モゴザイマス通りテ、拂下ゲテ既ニ代價ヲ拂ハセテ居ル上ニ檢査
スルト云フデアリマスカラ、ソレニ嚴重ナル重キ資格ヲ付ケルト云フコトハ甚ダ本案ノ趣
意ニ副ハヌコトデアルト思フノデスカラ、成ルベク資格ヲ附ケルトシテモ、必ズ輕イ意味ノ
資格ヲ附ケルト云フコトニシタイと思フ、サモナケレバ賣拂ウテモ檢査ラシテ、サウシテ或
一種ノ人デナケレバ此上地籍ヲ願フコトガ出來ナイ結果ニナラウト思ヒマス、サウ云フコ
トハ甚ダ不都合ト思ヒマスカラ、資格ハ成ルベク輕クシタイ、ソレカラ今一ツハ仕事ヲ敏
活ニシテヤッテ貰ヒタイ、是迄拂下二日ガ掛ッテシヤウガナイト云フ苦情ガアル、ソレデ多
少値段ナドハ出シテモ宜イカラ早クヤッテ貰ヒタイ、二十日モ三十日モ半歳モ掛ル其結
果ガ不認可ニナルト云フモノモアルト云フコトデアリマスカラ、此永ク掛ルト云フ事ガ一般
ノ苦情デアリマス、是ハ北海道地方ノコトデアリマスカラ、ナカ／＼至難ナコトデアリマセ
ウガ、斯様ナ法案ガ出ル以上ハ一層敏活ニスルヤウニシテ貰ヒタイ、ソレカラ今一ハ兎角
取ル方ハ嚴重ニナリ易イ、ソレデ以內ト云フ制限デアリマスケレドモ、北海道ニ仕事ヲシ
ヤウト云フ考カラ自ラ餘計取ラウト云フ方ニ成リ易イ、殊ニ御役人ハ與ヘルコトハ嚴重
ニシテ、取ルモノハ何デモ餘計取ルト云フヤウニナリ易イ、ソレニ一方事業ノ經營ヲ急グ
カラ、其弊トシテ何デモ餘計ニ取ラウト云フコトニナリ易イト自分ハ思フ、ソレ等ノ點ハド
ウカ一般ノ御同意ノ上デノ希望トシテ述ベテ置キタイと思ヒマス

○委員長(宮古啓三郎君) 平島君ニ御尋シマスガ、第三ノ御希望ハ
○平島松尾君 成ルベク直段ヲ廉クシテ賣ルト云フノデス
○委員長(宮古啓三郎君) 制限以內ニ於テ成ルベク廉ク賣ルト云フノデスナ、サウス
ルト御諮リシマスガ、平島君ノ三ツノ希望、即チ第一ガ出願人ノ第三條ノ資格ヲ輕ク
スルコト、第二ガ出願人ニ付テハ敏活ニ處分スルコト、第三ガ餘リ慾張ラナイヤウニ價
格ハ成ルベク廉クシヤウト云フ、ソレハ委員會ノ希望トシテ差支アリマセヌカ
〔委員會ダケノ希望ニシテ置カウ〕ト呼フモノアリ

○平島松尾君 ソレデ宜シ

○委員長(宮古啓三郎君) 別段本會ニ之ヲ報告スル必要ハアリマセヌカ
〔委員會デ宜シ〕ト呼フモノアリ

○松井源内君 一言御話ラシテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、唯今ノ八條ノ五年ト
云フコトハ詰リ少數デ私ノ希望ガ成立タヌノデアリマスケレドモ、北海道ニ關係スル議員
諸君ハ申スニ及バズ、又何レモ此事ニ於テハ絕對ニ反對ト云フ意味ノモノデナイノデアリ
マスガ、議會切迫シテ兩院協議會ト云フコトニナルトムツカシイカラ、詰リ貴族院ノ修正
ノ通り斯ウ云フコトニ本員ハ見受ケテ居ル次第デアリマス、ソレデアリマスカラ、先刻モ度
度申上ケル通り、實ニ此金ノ高イ廉イノコトヲ論ジナイノデ、日數モナイノニ甚ダ困難ナ
コトデアリマスカラ、成ルベク政府委員ハ此邊ハ本案ガ通過シタ上ニ於キマシテモ、調査
又ハ起業方法等ニ付テハ、十分ニドウカ御注意ニナッテ、此法案通り十箇年ト云フコト
ハナカ／＼困難ナ事情デアリマスカラ、一言申シテ置キタイ次第デアリマス、實ニ私ハ遺
憾ニ思ヒマスノハ、此年數ノコトニ於テハ貴族院ニ於テモ餘リ重キヲ置イテ居ラヌノデア
リマスヤウニ思テ居リマス、唯金ノ方ニバカリ重キヲ置イテ年限ト云フコトハ是マデ通りデ
アルカラト云フノデ、續々通過シタモノト思ウテ居リマス、私ハ金ノ五十錢ヤ一圓ノ高イ
コトハ思ハヌ、拓殖上ニ於テ誠ニ年限ノ十箇年ト云フコトハ大地積ニ向ッテナカ／＼云
ウテ行ハレヌ困難ヲ認メテ居リマス次第デアリマス、一言……
○委員長(宮古啓三郎君) 誠ニ御苦勞サマデゴザイマシタ、是デ散會致シマス
午後五時四十五分散會